

会員・会友各位

一般社団法人監査懇話会  
会 長 太田 剛

## 一般社団法人監査懇話会 第 16 回定時社員総会招集ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、一般社団法人監査懇話会第 16 回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、添付書類をお目通しの上、ご出席下さいますようお願い方々ご案内申し上げます。

敬具

### 記

1. 開催日時 2024年5月27日(月)13時30分～

2. 開催場所 千代田区立日比谷図書文化館  
住所:東京都千代田区日比谷公園 1-4  
電話:03-3502-3340

### 3. 会議の目的事項

報告事項

(1) 2023 年度(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)事業報告の件

決議事項

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 第 1 号議案 | 2023 年度貸借対照表並びに損益計算書承認の件 |
| 第 2 号議案 | 会費改定(値上げ)の件              |
| 第 3 号議案 | 2024 年度事業計画及び損益計画承認の件    |
| 第 4 号議案 | 理事選任の件                   |

### 4. 会員・会友の皆様へのお願いとご案内

＜お願いとご案内＞

- 報告事項・決議事項に関するご意見やご提案は、当会ホームページの「申込み・お問合せフォーム」にてメールでお送りください。別途、メールまたは文書にてご回答させていただきます。
- 皆様の議決権は、ご出席を見合わせた場合であっても、同封のハガキによって行使することができますので、是非ご利用ください。行使期限は、2024 年 5 月 22 日(水)午後 4 時到着または受付分までです。
- ご出席を予定される方は、当日会場にお越しください。事前の申込等は不要です。

※なお、社員総会終了後、14 時 45 分より開催予定の講演会は、リアル、オンライン(Zoom)併用開催となります。

聴講をご希望の方は、ホームページのイベント参加申込み、或いは事務局宛てメールにてお申込みください。(メルマガにて別途ご案内します。)

※総会ご出席の場合はそのまま、会場にて講演会を聴講することができます。

＜ご来場される方へのお願いとご案内＞

- 発熱があると認められる方には入場をお断りし、お帰りいただく場合があります。
- 「添付書類」は必ずご持参ください。会場にて予備の用意がございませんので、ご了承ください。

＜当会役員の対応について＞

- 総会の議事は、例年より時間を短縮して行う予定です。
- 登壇役員と運営スタッフは、マスクを着用させていただきます。
- 体調不良と見受けられる方にはお声掛けさせていただき、お帰りいただく場合がございます。

ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

## 開催場所のご案内



### 千代田区立日比谷図書文化館

(旧・都立日比谷図書館)

千代田区日比谷公園 1 番 4 号

＊東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・  
千代田線「霞ヶ関駅」C4・B2 出口  
より徒歩 5 分

＊都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7 出  
口より徒歩 3 分

＊東京メトロ 千代田線・日比谷線「日  
比谷駅」A14 出口より徒歩 7 分

＊JR 新橋駅 日比谷口より徒歩 12 分

＊車での来場、危険物の持込、客席で  
の飲食(蓋付ペットボトル除く)は、  
お断りします。

## 事業報告

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

## 1. 概況

## (1) 当会を取り巻く環境

2023 年度は 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症となり、様々な規制・自粛が解除されながらもコロナ禍以前の状況とは違った環境の中で、平常状態への復帰に向けた 1 年となりました。新型コロナウイルス感染症が身近なものとなり、感染者数の増減を繰り返しながらも大きく経済の復活を模索する 1 年でもありました。

企業活動においてはリモートワークが定着し、監査役等や会計監査人は、オンライン等を活用した各種リモート監査に取り組みました。いまだかつてない環境変化の中、監査役等の皆様はそれぞれ悩みながら職務を進めたと考えています。

当会としては会員・会友の皆様に対しこうした環境下での監査のあり方等、現場の監査役等の職務に役立つ講座をオンライン方式開催も併行して提供し、監査役等の皆様の「母港」としての活動を継続して行っていました。

## (2) 会員・会友の状況

会員・会友数(期末人員)の変動

|    | 2018年<br>9月 | 2019年<br>3月 | 2019年<br>9月 | 2020年<br>3月 | 2020年<br>9月 | 2021年<br>3月 | 2021年<br>9月 | 2022年<br>3月 | 2022年<br>9月 | 2023年<br>3月 | 2023年<br>9月 | 2024年<br>3月 |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 会員 | 192         | 191         | 204         | 207         | 207         | 201         | 199         | 199         | 204         | 203         | 196         | 197         |
| 会友 | 148         | 143         | 149         | 147         | 156         | 149         | 148         | 140         | 141         | 133         | 144         | 138         |
| 合計 | 340         | 334         | 353         | 354         | 363         | 350         | 347         | 339         | 345         | 336         | 340         | 335         |

2023 年度は 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症となり、様々な規制・自粛が解除されながらもコロナ禍以前の状況とは違った環境の中での 1 年でした。ある程度予測されていたものの、2024 年 3 月末日現在の会員・会友数は、会員 197 名・会友 138 名 総数 335 名と 2022 年度同様に減少傾向に歯止めをかけられない結果となりました。また 2023 年度計画(会員 205 名・会友 140 名 合計 345 名)に対しても大幅な減少を余儀なくされています。

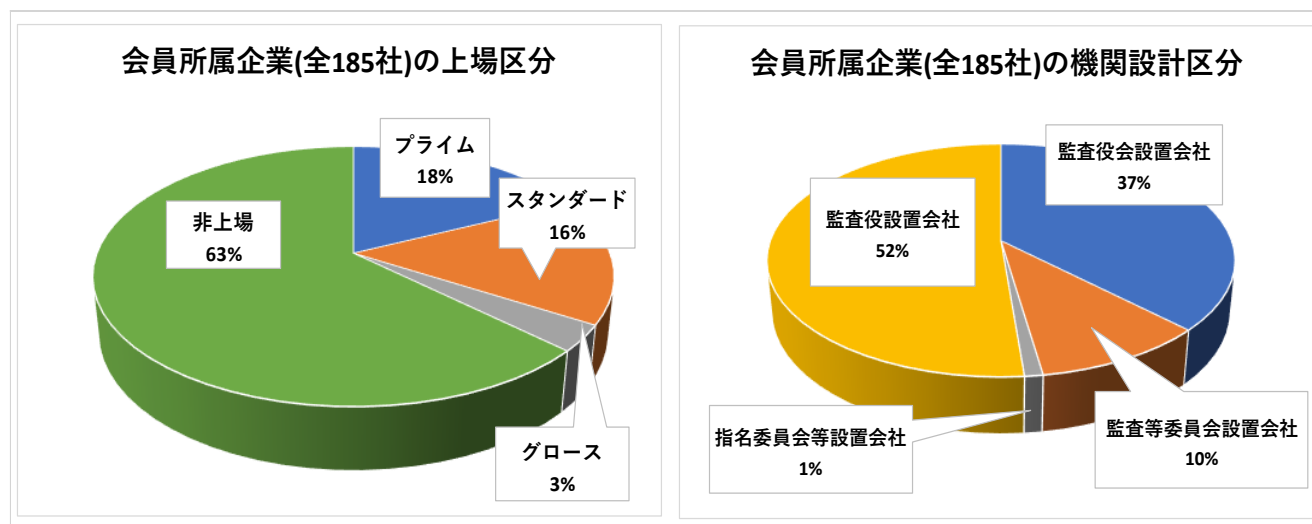
さらに 2020 年度以降の新規入会会員の動向を分析した結果、各年度毎の入会者のうち 30%～50%に近い方々が当会活動に参加をしないまま退会する、もしくは監査役としての最低限必要な監査基礎講座・会計基礎講座のみに参加して退会するという実態が見えてきました。こうした方々の退会防止対策が喫緊の課題として広報委員会や、理事会でも議論され、本件に関する認識が共有されることになりました。その結果として監査基礎講座等を中心として監査部会、一般部会、生涯学習部会同好会等においても、新規入会者に対する当会活動への参加呼びかけが徐々に強まっています。

また長く取り組んできた会員退任時の会友への移行促進の働きかけや既存の会員・会友の皆様の新入会員ご紹介もコロナ禍では顔を合わせる機会がなく、なかなか結果を期待することは出来ませんでしたが、今年度下期から新規会員紹介キャンペーンを開始しました。

2020 年度からかかる事態を予測して 2021 年 3 月に発足させた「HP活用プロジェクト」でホームページ(以下「HP」)を活用した外部へのアピールを強化する方策は 2022 年 1 月に実施の運びとなり、HPの一部改修とそれに連動した効果的なリスティング広告の企画を推進し、実施しました。

その成果として本年度は体験セミナーの参加者も安定してきており、新規の入会者数はここ数年、年間 20 名を超える人数になっています。これからは前述のようにいかに新しく入会して頂いた会員・

会友の皆様の早期退会を防ぎ、色々な当会活動に参加頂くことが重要になっています。



## 2. 各部会の活動状況

2023 年度の当会の活動は、政府が「コロナ禍」の対策として、2023 年 5 月 8 日より感染症法上の位置付けを「5類」に引き下げる事より、マスクルールの緩和などがなされ「平時への移行」を目指すようになり、当会も、2023 年 3 月 13 日のメルマガによる当会の対策修正通知通りの運営が定着化して参りました。その結果、リアル集合方式での「人と人の触れ合い」の場面がより増えて、当会の活動が「コロナ禍」以前のように活発化してきました。その過程で、勉強会や行事の後に、懇親会によるより緊密な会員・会友同士の懇親の場が多く持たれ、諸活動の一層の活力につながることもなり、色々な運営面の改善案などを会員・会友同士で話し合う場面が増えてきました。

また、「コロナ禍」の中で育んできた、リアル集合方式とオンライン方式の併用によるメリットも一種のノウハウとして活用する委員会等や行事もあり、特に現役の会員が職場から参加できること、また地方からの参加が可能になった事により、参加者数の増加に寄与出来ましたが、使用する会議開催場所によっては通信状況等の悪さから、途中で音声などが中断し効率面での問題が発生することも結構ありました。

更に、この間の諸物価の値上がり等もあり、特に外部での行事に関しては、予算内に収めることに苦勞する場面もあり、また見学先施設の受入状況が依然として厳しい制約面もありましたが、関連行事の運営委員等による努力で、各種の見直しや改善策が取られ、サービスの質的維持を図ることが出来ました。現役の会員が参加しやすい様に、土曜日での開催を企画するなどの配慮面も一部の行事で見られました。

なお、2023 年度の最大の活動の 1 つは、各部会より選出された委員により「財務改善プロジェクト」を組織し、2023 年 7 月 1 日の第 1 回会議から、2024 年 1 月 30 日の第 10 回会議まで、想定シミュレーションに基づく財務計画案の検討など、真摯な議論を何度も行い、最終的に「会費改定(値上げ)案」をまとめ上げ、理事会承認を経て、5 月の定期総会に提案する運びとなったことであります。

### (1) 監査部会 総括

監査部会には、各講座・セミナー・委員会・分科会・ゼミ等の12の委員会等がありますが、2023 年 5 月の定時社員総会の配布資料の中の、事業計画(案)の監査部会の項で、2023 年度の運営の重点テーマとして、①理事 3 名が新任となり、6 つの委員会等の委員長が交替するという運営体制の大きな変更の中で、新しい観点での改善等も含め、コロナ禍が継続する中で鋭意活動の強化に努める事、

②今後、会社法等の改正があった場合には確認書委員会での改正内容の共通認識作業を検討する事、③各委員会等のコラボレーションに関して密に情報交換を行い、委員会等の再編等が必要な場合には鋭意検討する事、の 3 つを取り上げ、上期に監査部会情報交換会(以降「情報交換会」)にて具体的に打ち合わせる事を掲載していました。

ところが、当会の上期運営の中で、2024 年度に向けての「財務改善に向けての検討」が大きな経営課題として取り上げられ、監査部会においても上記の重点テーマを意識しながら、この財務改善の課題を具体的に検討することとなり、上期に 2 回の情報交換会を持ちました。これらの検討の結果、監査部会の 6 つの勉強会活動、及びこれを支える 6 つの確認書委員会等の活動は、当会の中核基盤である事、又会員・会友の増加及び定着率の維持による収入アップの財務改善の為には、何より監査部会の諸活動の連携強化等による質的レベルアップが肝要であり、それらは当会の持続的な成長の必要条件であるとの共通認識を持つに至りました。こうして、12 の委員会等は個別に運営内容の見直しをするとともに、質的レベルアップの第一歩として勉強会活動の中の 4 つの委員会等(監査基礎・SG 分科会・技術ゼミ・実務研究会)が具体的な連携について、下期より打ち合わせることになりました。その成果の1つとして、毎月の理事会に報告され、当会のHPでも紹介されている「〇月の監査部会行事 テーマ・講師一覧表」での基礎講座等 5 つの勉強会の内容紹介があります。

2023 年度の下期においては、勉強会活動はリアル集合方式とオンライン方式との併用開催を常態化させ、交流を深めるため講師を含めた懇親会の場を極力持ち、参加者へ提供するサービスのレベルアップを図る事、また確認書委員会等はオンライン方式開催を基本として、より効率的な運営と質的に向上した成果物の提供に注力していくことになりました。各委員会等から提出された活動概況フォローをベースとして、関連委員会等が主体的に活動を行い、見直しを含めた結果の共有化を図り、さらなる連携の強化に繋げていくこととなりました。共通課題としては、併用開催の普及とともに、リアル会場への参加者数が頭打ちになっている状況を打破するための方策が必要な事と、運営委員数の確保が焦眉の問題としてあることであります。

なお、12の委員会等の詳細報告は、下記の項目を参照ください。また、別途自主的活動をしている 3 つの自主勉強会の報告を最後に紹介しておきます。

## 行事参加者数の変動

|                      | 2018年度       | 2019年度       | 2020年度       | 2021年度       | 2022年度       | 2023年度       |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| <b>監査部会</b>          | <b>2,842</b> | <b>2,819</b> | <b>2,222</b> | <b>3,307</b> | <b>3,004</b> | <b>3,046</b> |
| <b>セミナー・講座等</b>      | <b>2,615</b> | <b>2,617</b> | <b>1,972</b> | <b>2,989</b> | <b>2,786</b> | <b>2,827</b> |
| <b>現職会員主対象講座</b>     | <b>488</b>   | <b>578</b>   | <b>501</b>   | <b>821</b>   | <b>670</b>   | <b>656</b>   |
| 監査基礎講座               | 281          | 374          | 321          | 471          | 413          | 408          |
| 会計基礎講座(含・初歩講座)       | 207          | 204          | 180          | 350          | 257          | 248          |
| <b>その他一般講座</b>       | <b>2,127</b> | <b>2,039</b> | <b>1,471</b> | <b>2,168</b> | <b>2,116</b> | <b>2,171</b> |
| 監査セミナー               | 975          | 971          | 491          | 911          | 817          | 935          |
| ※YouTube再生回数         |              |              | 0            | 1,094        | 635          | 486          |
| 監査実務研究会              | 390          | 384          | 389          | 595          | 615          | 410          |
| ※YouTube再生回数         |              |              | 71           | 238          |              |              |
| スタディグループ分科会          | 318          | 265          | 167          | 119          | 246          | 209          |
| 監査技術ゼミ(独立委員会S)       | 444          | 419          | 424          | 543          | 438          | 617          |
| 特別企画セミナー             |              |              |              |              |              |              |
| <b>委員会活動</b>         | <b>227</b>   | <b>202</b>   | <b>250</b>   | <b>318</b>   | <b>218</b>   | <b>219</b>   |
| <b>確認書委員会</b>        | <b>185</b>   | <b>139</b>   | <b>165</b>   | <b>189</b>   | <b>122</b>   | <b>106</b>   |
| 取締役職務執行確認書           | 40           | 37           | 30           | 28           | 28           | 33           |
| 監査役職務確認書             | 25           | 27           | 59           | 65           | 41           | 35           |
| 企業集団内部統制監査確認書        | 61           | 39           | 52           | 61           | 53           | 38           |
| 監査等委員(会)職務確認書        | 59           | 36           | 24           | 35           | 0            | 0            |
| <b>監査役実務マニュアル委員会</b> | <b>36</b>    | <b>63</b>    | <b>62</b>    | <b>84</b>    | <b>96</b>    | <b>99</b>    |
| <b>法令改正検討委員会</b>     | <b>6</b>     | <b>0</b>     | <b>23</b>    | <b>45</b>    | <b>0</b>     | <b>14</b>    |

※YouTube再生回数：会員・会友に限定して配信したYouTube録画を視聴した人数

## ・監査セミナー

2023年度の監査セミナーは、新任の講師として、公認会計士 山岸 聡氏をお迎えし、日比谷図書文化館大ホールにおいて、リアル集合方式とオンライン方式の併用で、年11回(8月は休会)開催しました。

各月のテーマ及び講師は、次の通りです。

2023年4月は「2023年株主総会に向けての留意点」日比谷パーク法律事務所 弁護士 松山 遙氏、5月は「ガバナンス改革の現状と展望」アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業 弁護士 塚本英巨氏、6月は「日本型企業統治システムの要としての監査役等の役割について」九州大学名誉教授 弁護士 西山芳喜氏、7月は「監査役報酬の在り方と今後の方向～取締役の報酬との比較の視点を踏まえて～」獨協大学法学部 教授 高橋 均氏、8月は休会、9月は「監査等委員会設置会社と比較しての監査役会設置会社の利害得失の再検証」青山学院大学法学部 教授 浜辺陽一郎氏、10月は「監査役員が監査環境を整備するための処方せん ― 企業を取り巻く経営環境から考える」山口利昭法律事務所 弁護士 山口利昭氏、11月は「M&Aに関するルール整備の動向」東京大学社会科学研究所 教授 田中 亘氏、12月は「監査役監査と監事監査～令和5年私立学校法改正における議論からの示唆」早稲田大学法学学術院 教授 尾崎安央氏、2023年1月は「新たなリスクへの挑戦と対応～アジャイル・ガバナンスのススメ」プロティビティLLC シニアマネージングディレクタ 神林比洋雄氏、2月は「企業不祥事から考える予防と危機管理～最近の事例をもとに～」国広総合法律事務所 弁護士 五味祐子氏、3月は「2024年3月期決算の留意事項」公認会計士 山岸 聡氏。

以上の通り、2023年度の監査セミナーは、直近の株主総会や決算関連のもの、コーポレートガバナンス関連のもの、近年頻発する企業不祥事を踏まえた監査役への期待や監査役等が知っておくべ

き最新情報など身近なもの、また、「監査役等とは何か」を考える上で大変有益なものなど、多岐にわたる内容を、著名な弁護士・大学教授他により講演して頂き、参加者数は、リアル集合方式での聴講者とオンライン方式での聴講者を合わせ、各セミナーは前年度と概ね同水準の数十名～100名規模となりました。

尚、2019年(コロナ禍前)まで、ほぼ毎回実施していたセミナー後の講師を含めた懇談・懇親会を、2023年度から、再開しました。

## ・監査基礎講座

当会の入り口ともいえる本講座ですが、昨年度同様、2023年度は2023年7月から2024年5月まで11回の講座をすべてリアル集合方式とZoomオンライン方式の併用にて開催しました。2023年度は会場とオンライン合わせ毎回35名から40名の方々に参加いただき、特に、会場参加者が半数以上という状態まで戻りました。

長期コロナ禍においては、他の行事と同様、活動が制限されましたが、2023年度からは、監査懇話会に入会され、まずは、監査部会での入り口となる基礎講座の参加を申し込まれた方々に提供できる知見や人脈形成等、付加価値のさらなる向上を意識しました。参加者同士の人脈形成や、他の方々との対話の機会を増やすために、一部講座においては、グループ討議を設定し、毎回実施した有志懇親会では、講師を交えて、参加者間での有意義な質疑・対話を行いました。さらに、参加者の方々の知見を深めるために、監査部会の他の行事への積極的な参加を呼びかけ、かつ、次のステップとしてのスタディグループ分科会へのスムーズな移行を目的に、第4回では、スタディグループ分科会共催として、「初めての監査役」というテーマで、分科会メンバからの発表を盛り込み、第8回の最後には、スタディグループ分科会委員長から、次期活動の説明を行い、参加者には、次期メンバーとしての参画を推奨しました。

基礎講座は、その名の通り、特に、新たに監査役に選任された方々に基礎を学んでいただくという趣旨のもと、年間の講義テーマ及び講師は固定した形で運用しています。今年度は、11名の講師のうち2名が新たな講師となりました。内容の本質は維持したうえで、毎回の参加者からのフィードバックを含めて、参加者に提供できる質を高められるよう今後とも、活動していきたいと考えています。

## 2023年度 監査基礎講座 実績

(敬称略)

|    | 講 師                         | 監査懇役職      | 所 属                 | テーマ                 | 開催日   |
|----|-----------------------------|------------|---------------------|---------------------|-------|
| 1  | 小森 克紀                       | 監査役マニュアル委員 | 元東電広告(株)            | ・監査役制度、監査役マニュアルの概要  | 7/28  |
| 2  | 木内 有子                       | 講座運営委員     | (株)リアルゲイト           | ・監査計画の決定、監査役会の運営    | 8/23  |
| 3  | 森川 英治                       | 理事         | アップセルテクノロジーズ(株)     | ・監査役職務確認書について       | 9/27  |
| 4  | SG分科会代表者(5名)・・・基礎講座、SB分科会共催 |            |                     | ・初めての監査役(私はこれから始めた) | 10/4  |
| 5  | 渡部 潔                        | 監査等委員、顧問   | シンバイオ製薬(株)          | ・内部統制と監査役役割         | 11/24 |
| 6  | 下村 恒一                       | 理事         | 元 日本海洋石油資源開発(株)     | ・監査役の事例に学ぶ          | 12/18 |
| 7  | 五艘 洋司                       |            | (株)Lis B            | ・期中監査の実行            | 1/26  |
| 8  | 森田 功                        | 理事         | キオクシアホールディングス(株)    | ・監査役監査の方法           | 2/28  |
| 9  | 堀田 和郎                       | 監査役マニュアル委員 | 元(株)近鉄ロジスティクス・システムズ | ・期末監査の実行、監査報告書の作成   | 3/12  |
| 10 | 鈴木 充郎                       | 監査役マニュアル委員 | 元農中信託銀行             | ・株主総会における監査役役割      | 4/9   |
| 11 | 太田 剛                        | 会長         | オリックス銀行(株)          | ・監査役等の在り方を考える       | 5/24  |

## ・会計基礎講座

2022年8月には、元(株)三菱電機ライフネットワークの松岡尚登氏を講師として、経理と経営を関連づけて捉える手法で講義を進める会計初步講座を開催しておりました。

2023年度は、従来の会計初步講座を会計基礎講座に組み込み、「新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(前編・後編)」をテーマとして、8月と9月の2回で連続開催をしました。

また例年通り、10月から翌年3月まで、営業部門、製造部門出身者などの財務会計業務未経験者を主対象として、各月1回計6回開催して、総開催回数の8回の計画でしたが、特別編として4月にずれ込みましたが「うっかり違法配当」をテーマとした講座を加えて9回の開催となりました。

12月と4月の講座には、公認会計士の外部講師に依頼して、その他の回は、従来通り、財務会計の知識がある会員または会友に依頼いたしました。

開催方式は、リアル集合方式とオンライン方式での併用開催を原則として、講座の進め方としては、ディスカッションのできる時間割を設定して講座を進めることができました。

## 2023年度 会計基礎講座 実績

(敬称略)

|   | 講 師    | 所 属                    | テーマ                       | 開催日   |
|---|--------|------------------------|---------------------------|-------|
| 1 | 松岡 尚登  | 元(株)三菱電機ライフネットワーク      | 新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(前編) | 8/29  |
| 2 | 松岡 尚登  | 元(株)三菱電機ライフネットワーク      | 新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(後編) | 9/13  |
| 3 | 高須賀 徹  | (株)日本生物製剤              | 会計実務の基礎                   | 10/18 |
| 4 | 阿部 俊彦  | 元日本鑄造(株)               | 簿記の概要と会計理論                | 11/7  |
| 5 | 小粥 純子  | 公認会計士                  | 少し難しい会計処理をサクッと手早く         | 12/8  |
| 6 | 齋藤 安弘  | 元 TAKUMINO ホールディングス(株) | 決算と法規制—会社法における会計規定を中心にして  | 1/24  |
| 7 | 越田 和也  | 三菱電機ソフトウェア(株)          | 管理会計及び財務分析                | 2/13  |
| 8 | 石北 俊彦  | (株)ABC 店舗              | 税務会計と税務申告                 | 3/22  |
| 9 | 田邊 るみ子 | 公認会計士                  | うっかり違法配当防止の分配可能額簡単チェック方法  | 4/19  |

## ・監査実務研究会

2023年度は、運営委員による問題提起10回のほか、外部講師による講演1回を含めて計11回の研究会を開催しました。昨年度と同様、リアル集合方式とオンライン方式の併用を基本(10回)としつつ、オンライン方式のみも1回実施しました。1回の参加者の平均は37名(昨年度は48名)で、会場参加者は増えたものの、オンライン参加者を含めた全体では減少となりました。

テーマとしては、6月の「これからの働き方改革」、7月の「ITの進歩と監査役監査」、12月の「改正公益通報者保護法を踏まえた内部通報制度に対する監査役等の関わり(第2弾)」のように、監査役等の監査項目として参考となるもの、また、2024年1月の「社外取締役と監査役の役割・責務について」と3月の「監査役会設置会社と監査等委員会設置会社 違いと弱点補強」のように機関設計に関するものなど、実務に沿ったものを取り上げました。一方、2023年4月の「合理的な意思決定と監査役」、5月の「創業の課題と支援策」、9月の「組織の私物化に監督・監査の立場からどう対応すべきか」、11月の「コーポレートガバナンスに関する諸制度の現状と課題」では、従来あまり取り上げていなかった視点から問題提起が行われたほか、10月の「プロセスで理解する企業と刑事事件」では、時宜にマッチしたテーマにも取り組みました。また、昨年からは始めた「先進的な監査役等の活動から学ぶ」シリーズとして、2024年2月に(株)トプコンの竹谷監査役をお招きして、長年の監査役活動における知見・経験を伺うことができました。

## ・スタディグループ分科会

本年度は6つのワーキンググループ(WG)を設け、運営委員5名を含めて23名(前年度は22名)がWGの活動に参加しました。6回の発表会に参加した方は、リアル集合方式とオンライン方式合計で41名、合計64名がスタディグループ分科会(以下「SG分科会」)の活動に参加しました。発表会への参加者は会を重ねるごとに増え、最終回は40名になりました。コロナ禍の3年間を経て、発表会は会場でのリアル集合方式とオンライン方式の併用を続けています。WGはリアルの活動が全面復活し、

メンバーのオフィスを相互に訪問、会議で各自の活動経験や問題意識、悩みなどを共有し、活発な議論を交わした後は懇親会というスタイルに戻り、工場見学をさせてもらったグループもありました。

募集については、テーマの選定と並行して、メルマガで広く参加希望を募る一方、監査基礎講座出席者にメールで個別に参加を呼びかけ、さまざまな機会にPRと勧誘に努めました。7月には、昨年度に続き、WG参加希望者全員を集めるキックオフミーティングを開きました。参加者が他のWGのテーマにも関心を持ち、メンバー全員の顔を知る機会となり、SG分科会活動の一体感の醸成に役立ちました。2020年度より基礎講座との共催となった「初めての監査役」も4回目となり、初年度に基礎講座を受講したら、次はSG分科会へという流れを作ることに貢献しています。

本年度は、従来からSG分科会の活動の主な対象となってきた監査役就任2、3年目の会員だけでなく、新任の会員にも参加いただきましたし、ベテランの会員や会友が中心となって新しいテーマに意欲的に取り組むWGもできました。リアル参加者の増加で発表会も活性化し、発表会終了後の懇親会では、「若手」会員とベテランの会員・会友が意見交換しながら親睦を深めることができ、次年度のSG分科会活動、WG参加にもつながってきています

## ・ 監査技術ゼミ

会員・会友の監査能力の更なる向上を目的に、監査役にとっての重要な課題に関して、下記3点の方法でゼミナール形式による知見を得る場を提供しています。

- ① 会員会友の知り合いの外部講師を招いての講演を開催します。質疑応答・意見交換を大切にしています。
- ② 監査懇話会の成果物である職務確認書等の解説会を開催して、内容の充実と活用の向上を図っています。
- ③ パブリックコメント(法令改正検討委員会)についての論点の説明会

### ①2023 年度に実施した講演

|                      |           |                                                                     |
|----------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------|
| 2023/4/07<br>第 120 回 | テーマ<br>講師 | 心理的安全性をベースに未来を描き、共有するこれからの経営の役割<br>スコラコンサルト 源明典子(げんめい)氏             |
| 2023/5/30<br>第 121 回 | テーマ<br>講師 | 「攻め」と一体として機能する「守り」のガバナンスと監査役等の役割<br>東京霞ヶ関法律事務所 弁護士 遠藤元一先生           |
| 2023/6/14<br>第 122 回 | テーマ<br>講師 | 労働安全リスクマネジメントと経営を監査する！<br>品質と安全文化フォーラム 代表理事 / 博士(学術) 中嶋洋介先生         |
| 2023/7/7<br>第 123 回  | テーマ<br>講師 | 人事・労務管理を取り巻く最近の動向 2023<br>パリティ社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 佐藤道子先生           |
| 2023/9/1<br>第 124 回  | テーマ<br>講師 | 経営問題としての品質コンプライアンス (第二弾)<br>KPMG コンサルティング アソシエイトパートナー 水戸貴之氏         |
| 2023/10/3<br>第 125 回 | テーマ<br>講師 | サステナビリティ情報開示の最新事例とその在り方<br>公認会計士 久保恵一先生)                            |
| 2023/11/2<br>第 126 回 | テーマ<br>講師 | ウェルビーイング経営 ～企業価値向上を目指す“深化型”健康経営～<br>MS&AD インターリスク総研 主席コンサルタント 森本真弘氏 |

|                       |     |                                                  |
|-----------------------|-----|--------------------------------------------------|
| 2023/12/25<br>第 127 回 | テーマ | クロネコヤマトの経営改革（物流業界の課題解決に向けた経営判断について）              |
|                       | 講師  | ヤマトホールディングス 参与 山内雅喜氏                             |
| 2024/1/12<br>第 128 回  | テーマ | 「取引先の不祥事」リスクに備えよ！<br>～ビッグモーター・ジャニーズ問題が提起する新たな論点～ |
|                       | 講師  | プロアクト法律事務所 弁護士 竹内朗先生                             |

重要テーマを選出して、その分野に造詣に深い外部講師を招いての講演は、年 9 回の開催となりました。リアル集合方式とオンライン方式との併用による実施により、参加状況としてコロナ禍を経てリアル参加が増加してきました。全体として講演にはリアルとオンライン合計で511名が参加。昨年対比（8回開催）で132名（25.8%）増加となりました。

「経営判断の正当性」についてテーマとした12月は、ヤマトホールディングス元社長 山内 雅喜様の講演で76名参加。内リアル会場参加が30名となりました。そして1月のプロアクト法律事務所 竹内 朗先生による講演では89名参加となりました。

## ②2023 年度実施の解説会

|                             |     |                                    |
|-----------------------------|-----|------------------------------------|
| 2024/2/19<br>(月)<br>第 129 回 | テーマ | 「取締役職務執行確認書(2024 年版)」の解説           |
|                             | 講師  | 監査懇話会 取締役職務執行確認書委員会委員長 浅見公一氏       |
| 2024/3/19<br>(火)<br>第 130 回 | テーマ | 「監査役職務確認書(2024 年版)」の解説             |
|                             | 講師  | 監査役職務確認書委員会委員長 堀田和郎氏               |
|                             | テーマ | 「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書(2024 年版)」の解説 |
|                             | 講師  | 企業集団内部統制監査確認書委員会委員長 浅見公一氏          |

成果物の解説会もリアル集合方式とオンライン方式との併用により実施しました。会場を中心に事例の共有や質疑応答が活性化しました。個社に合わせた活用に広がっていくことを期待しています。

## ③2023 年度パブリックコメント(法令改正検討委員会)の説明会 …開催なし

上記①②にて、ゼミナール形式での講演や解説会により、講師と参加者との意見交換や質疑応答が活性することでより知見を深めることを大切にしてきました。また終了後にアンケートを実施することにより、意見や感想、質問そして講師からの回答を参加者全員で共有して、理解を深める助けにつなげています。また講師と共有することで、よりよいゼミでの講演と運営に活かすようにしています。

監査技術ゼミの講演資料については、当会の会員・会友限定の情報としてHPで公開しています。

## ・取締役職務執行確認書委員会

「取締役職務執行確認書」は、2006 年 12 月に初版を公表し、以降 2022 年 1 月までに 16 回の改訂を実施しましたが、2022 年には大きな法令改正がなかったため、2023 年はひな型の改訂を見送りました。2023 年にも大きな法令改正等はありませんでしたが、確認項目の充実や使いやすさ等に着眼した改訂を実施すべく、委員 5 名、サポートメンバー 2 名の体制で、2023 年 9 月から今期の委員会活動を開始しました。その結果、第 17 回改訂版を策定し、2024 年 1 月理事会で承認を受け、1 月 22 日に当会HPに掲載しました。

第 17 回改訂版における主な改訂点は、①利用対象が監査役(会)設置会社及び監査等委員会設置会社であることを明確化、②「内部統制システムの構築・運用責任」における取締役会の監督責任を明確にするために確認事項を追加、③関連法令等について全般的に見直し及び整理を実施、な

どとなります。

### ・監査役職務確認書委員会

「監査役職務確認書」は、2011 年 3 月に初版を公表以来、経営環境の変化に合わせ監査役・監査役会の標準的な職務はどうあるべきかを追究し毎年改訂を重ねています。今年度の第 14 回改訂では、委員 8 名が 2023 年 10 月初旬から本年 1 月にかけてオンライン会議に参加し検討を進めました。本年 2 月に理事会で改訂内容の承認を受け、3 月に当会HPに改訂版と新旧対照表を掲載しました。主要な改訂点は、次の各項目となります。

- ①内部通報制度に関し、会社の内部統制システムにおいて内部通報制度が重要視されている状況に鑑み、2022 年 6 月施行の改正公益通報者保護法の趣旨を踏まえて、「Ⅱ—5 会社法の内統制監査」の記載内容を一部変更、追加しました。
- ②企業集団の内部統制監査に関し、網羅的な監査が困難な場合、リスクに応じたメリハリのある監査が必要となること、および企業集団の子会社監査における子会社の拒否権の解釈についての説明を「Ⅱ—11 企業集団に関する監査」に追加しました。
- ③上場会社等では種々の開示が求められて、監査役もその記載事項の適切さを監査する必要がありますが、法令等改正に基づく開示内容の変更等を受けて、以下の点について記載内容の変更、追加をいたしました。
  - a.有価証券報告書に、サステナビリティに関する考え方及び取組、監査役監査の状況、内部監査の状況等について記載することが必要になったこと。
  - b.金融商品取引法改正に伴い、2024 年 4 月 1 日以後、四半期報告書が廃止され、第 2 四半期報告書は半期報告書として公表することになったこと。
  - c.金融商品取引法及び公認会計士法の改正に伴い、上場会社等の監査業務を行う公認会計士又は監査法人は、日本公認会計士協会の「上場会社等監査人名簿」に登録されていなければならないこと。
- ④日本公認会計士協会「倫理規則」の改正に伴い、会計監査人が監査業務を提供している上場会社等(そのグループ会社を含む)に非保証業務を提供する場合、監査役と事前に協議し了解を必要とすることになったことを「Ⅲ—4. 会計監査人との連携」に追加しました。

### ・企業集団内部統制監査確認書委員会

「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書」は 2013 年 2 月に「監査役職務確認書」の姉妹版として公表し、以降 2023 年 3 月までに 9 回の改訂を実施してまいりました。今年度は 2023 年 10 月から委員会活動を開始し、例年通り「監査役職務確認書」の改訂プロセスの状況も確認しつつ、委員 5 名とサポートメンバー 3 名で改訂作業を行いました。その結果、第 10 回改訂版を策定し、2024 年 3 月理事会で承認を受け、3 月 15 日に当会HPに掲載しました。

第 10 回改訂版の主な改訂点は次の通りです。①新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが 5 類に移行したことに伴い、【付表】として掲載していた『「コロナ禍」を経た環境における監査上の留意点』を廃止し、その中で通常業務として定着した項目を本文に取り込みました。②「会計監査人との連携」の項で、日本公認会計士協会の「監査基準委員会報告 600」及び「倫理規則」が改正されたことに伴い、監査役に関連する内容を修正、追記しました。

### ・監査等委員(会)職務確認書委員会

今年度においても、現状の第 3 回改訂版の確認書が活用可能との判断で、当該委員会の確認書改訂の活動は中止したままではありましたが、当会の監査等委員の要望もあり、監査等委員会設置会社・情報交換会を基本的に年 2 回開催することに致しました。

2023 年 8 月の情報交換会では、オンライン方式での開催で、新規参加会員の会社概要紹介の後、会員による、①監査等委員会と内部監査部門の連携、②監査等委員(会)による取締役の報酬及び指名の監督の在り方、の 2 つのテーマに基づく問題提起を発表したところ、15 名の参加者により活発な議論が行われ、更に交換会後においても関係者間で幾度となく意見交換が行われ、非常に有意義な議論の場が持たれました。

2024 年 3 月には、今年度 2 回目の情報交換会を、参加者の強い要望もあり、リアル会議方式一本にて参加者同士が face to face ベースで対面する形で開催し、その後より緊密な情報交換の場として懇親会の場も設定しました。テーマは、「実効性の高い監査活動を行う為の監査等委員会の組織・運営の在り方」という事で、会員の基調報告「監査等委員に求められる役割とは」及び、会員へのアンケート集計結果による監査等委員会の組織や評価に係る会員の問題提起が行われた後、参加者による真摯な意見交換の場がもたれました。特に、この情報交換会は自主勉強会と言う性格から、外部の監査等委員予定者の参加もあり、今後の当会への入会にもつながるものとして大いに期待されるものとなりました。

### ・監査役実務マニュアル委員会

2014 年 10 月に初版を刊行した「最新 監査役の実務マニュアル」は、監査懇話会の会員等が執筆と編集を行い、新日本法規出版(株)が出版する書籍です。内容を常に最新の状態に保つため、毎年、追録作業(新設項目追加・既存項目補正)を継続して行っています。2023 年度は、4 月から 8 月末まで会員・会友合計 13 名の委員が協働して追録作業を行いました。

最近の法令等改正や監査環境の変化に対応させ、以下の項目 3 件を新設しました。

- ①内部通報制度について監査する
- ②個人情報保護について理解し監査する
- ③会計監査人との連携を強化する

真田宗興委員が執筆する「監査役参考事例集」(事件簿)の新設は次の通りです。

- ①監査役の任期を短縮できるのかーY社事件
- ②不正の報告を受けた監査役は一Nサービス

その他、294 項目(図解を含む)中 57 項目に修正・補正を行い、2023 年 10 月に追録版を読者に配本しました。2023 年 7 月 31 日現在、監査懇話会会員への追録有償販売部数は 98 部(昨年と同数)であり、出版社全体の追録有償販売部数は 490 部(昨年より 39 部減)となっています。また、本書籍をオンラインで閲覧出来るしくみを新日本法規出版社が提供しており、当会会員・会友はパスワード入力により閲覧が可能です。

### ・法令改正検討委員会

今年度より委員長が交替となり、また 3 名の新メンバーも加入し、計 7 名の運営委員での新体制となりました。今年度の最初の運営委員会を 2023 年 8 月に開催し、新メンバーを含めた委員の自己紹介と今年度の方針説明及び過去の理事会報告と本年 7 月からの新体制での理事会報告をベースに意見交換を行いました。今年度の方針として、理事会報告の内容は、今までの会社法やコーポレートガバナンス・コード等のパブリック・コメント作成対象を中心にした情報内容から一新して、監査役等が取締役会や経営会議あるいは財務経理・法務部門との打ち合わせ等において、最低限必要とされる、近時の各種法制やルール等の制定・改正等の動向、並びに各種関連情報を共有化し、日々の監査役等の活動への寄与を目的とするものと致しました。

従って、法務省・金融庁や東京証券取引所のみならず、経産省・総務省・国交省・内閣府及び公正取引委員会等の他の政府当局や、日本監査役協会・日本内部監査協会或いは他の団体のセミナー等

による関連情報、更に例えば、生成AIの開発と規制、税制改正動向、TOB関連、非上場化動向、LC関連、株主総会トピックス等の個別関連情報も併せて報告するものとして「月例報告」を取りまとめることになりました。

2024 年 2 月には、今後の当局からのパブリック・コメント(以下「パブコメ」)の募集に応じるために、特に新メンバーへの事前勉強の場として、下記の 3 点を議題として、一般の会員・会友の参加を含めたオンライン形式での勉強会を開催し、合計 13 名の参加者で有意義な意見交換が行われました。

- ①法務省あて当会のパブコメ「会社法制(企業統治等関係)の見直しに関する中間試案に対する意見」に関してのパブコメ作成過程と当局の審議結果のレビュー、
- ②東証あて当会のパブコメ「CG コードの改定案」に対する意見、及び金融庁あて当会のパブコメ「投資家と企業の対話ガイドラインに対する意見」についての事後的考察、
- ③関経連の「CGに関する提言」について

### ・3つの自主勉強会

- ① 「非上場・オーナー系企業の会」・・・2023 年度が第 6 期となりましたが、非上場企業やオーナー系企業の監査役の「母港」的存在として、中小規模でオーナーの存在感の強い会社において「あるある」と言えるような疑問、思いなどを気軽に相談したり、会員の皆さんの意見を聞くことができる場を目指しています。研究発表の場ではなく、会としての成果物も求めない姿勢で活動していますが、毎回様々なテーマが持ち出され、参加者から好評を博しています。例会は原則月 1 回開催、開催方式はリアルとオンラインの併用ですので、遠隔地の方や仕事の関係で会場に来る時間に余裕がない方も参加可能です。毎回 10 名程度強の方が参加して意見交換しています。また、例会終了後には会場参加の希望者による懇親会を開催しています。堅苦しい会にせず、IPO 準備中を含む非上場企業やオーナー系企業の監査役等で悩みや課題を感じておられる方に気軽に参加していただきたいと考えています。
- ② 「海外子会社監査情報交換会」・・・当会は 2017 年よりスタートし累計 26 回開催し、会員による海外子会社往査の実例報告や、大学教授による関連講義、中国人弁護士による日系中国子会社の監査状況レポート、更には J E T R O の海外進出日系企業の実態調査報告などを行い、出席者による熱心な質疑応答が活発に行われてきました。しかし、3 年にわたるコロナ禍による海外往査の中止状況が影響し、事例発表の実績がほぼなくなり、その影響もあり、2023 年 1 月の事例発表以後は情報交換会が中断しています。今後、海外往査が本格的に復活する企業が増えると思われますので、コロナ禍の中で開発したりリモート監査の紹介も含め、事例発表の場を再開すべく働きかける予定です。今後、企業集団内部統制監査に関して海外子会社を含めたコーポレートガバナンス状況のチェックがより厳しく問われる環境になると思われますので、この情報交換会の更なる充実を図りたいと思います。
- ③ 「IPO 準備中企業の会」・・・世話人が任期満了に伴い監査役を退任し、当会を退会することになったため、2023 年 1 月度の開催を以って、一旦、休会となりました。その後、同世話人が新たな会社の監査役(常勤)に 23 年 12 月に就任し、当会に再入会することになったことより、この会を開催頻度は 1~2 ヶ月に 1 回、1 回あたり約 2 時間の目途で再開する運びとなっています。当会のメルマガにて参加希望者を募り、現時点では 10 名強にて、2024 年 5 月頃より、再開見通しとなっています。

## (2)一般部会

講演会、研修見学会ともに、概ね年度計画通りに開催することが出来ました。講演会では会場と Zoom の併用、YouTube 配信の方式が定着し、11 回開催しました。また、2年ごとのアンケートを実施しました。研修見学会では特別研修見学会を取り止めましたが、バス利用を 1 回増やし現地集合と合わせて10 回開催しました。講演会の会場参加者数や研修見学会の参加者数は、コロナ禍前に戻っていませんが、各委員がリアルでの参加者を増やすべく、工夫、努力をしています。

### 行事参加者数の変動

|              | 2018年度       | 2019年度       | 2020年度     | 2021年度     | 2022年度       | 2023年度       |
|--------------|--------------|--------------|------------|------------|--------------|--------------|
| <b>一般部会</b>  | <b>1,487</b> | <b>1,327</b> | <b>578</b> | <b>846</b> | <b>1,211</b> | <b>1,191</b> |
| 研修見学会(含・特別)  | 398          | 348          | 67         | 88         | 217          | 253          |
| 講演会          | 1,089        | 979          | 511        | 758        | 994          | 938          |
| ※YouTube再生回数 |              |              | 694        | 1,065      | 948          | 1,030        |

※YouTube再生回数：会員・会友に限定して配信したYouTube録画を視聴した人数

### ・講演会

講演会は 7 月に 800 回を数えましたが、表のとおり休会の 8 月を除き 11 回の開催となりました。テーマ別では、経済が 3 回、国際問題とその他／社会が各 2 回、歴史、政治、健康、芸術が各 1 回となりました。参加者は会場と Zoom を合わせて毎回 70～100 名程度となっていますが、Zoom 視聴者がほぼ毎回会場参加者を上回っており、会場参加者の増加が課題となっています。

今年度のトピックスとしては、2 年毎に行っている会員・会友向けアンケートを実施しました。この目的は希望するテーマや講師の傾向を把握すること、および講演会の認知度向上としていましたが、回答者数は 146 名と前回(51 名)前々回(84 名)から増加しました。(集計結果は會報 12 月号に掲載)

また、期中において執行部から財務改善に向けた経費削減要請を受け、予定していた講演会等の中止、配布資料の簡素化、遠隔地講師交通費の見直し等々により、当委員会として最大限の協力で応えました。

| 開催日   | 講 師 名                        | テ ー マ                                     | 分 野    | 会場出席 | Zoom | You Tube |
|-------|------------------------------|-------------------------------------------|--------|------|------|----------|
| 4月24日 | 西平直氏（京都大名誉教授）                | 死の問題をインファンティア（子供の頃）の視点から考える～誕生の不思議と死の不思議～ | その他／社会 | 34   | 47   | 86       |
| 5月24日 | 五百旗頭眞氏（アジア調査会長）              | ウクライナ危機後の世界と日本                            | 国際問題   | 47   | 53   | 98       |
| 6月5日  | 小黒一正氏（法政大教授）                 | 日本財政と社会保障をめぐる課題                           | 経済     | 28   | 42   | 75       |
| 7月5日  | 福本智之氏（大阪経済大教授）               | 中国減速の真相                                   | 国際問題   | 48   | 48   | 106      |
| 9月6日  | 本田悦郎氏（元内閣参与）                 | アベノミクスを貫徹せよ                               | 経済     | 35   | 43   | 89       |
| 10月6日 | 櫻井義秀氏（北海道大教授）                | 旧統一教会とカルト教団問題                             | その他／社会 | 43   | 38   | 60       |
| 11月1日 | 大石学氏（東京学芸大名誉教授）              | 家康－戦国から江戸へ－                               | 歴史     | 39   | 41   | 75       |
| 12月5日 | 橘川武夫氏（国際大教授）                 | カーボンニュートラルと日本のエネルギー政策                     | 政治     | 47   | 36   |          |
| 1月16日 | 熊野英生氏（第一生命経済研究所<br>首席エコノミスト） | 2024年日本経済の見通し                             | 経済     | 85   | 28   | 112      |
| 2月7日  | 越川房子（早大文学学術院教授）              | マインドフルネスによる心身の健康法                         | 健康     | 27   | 43   |          |
| 3月4日  | 永田和宏（歌人・京都大名誉教授）             | 寄り添う言葉～短歌でつづった夫婦の闘病記録&かつての青春～             | 芸術     | 32   | 42   |          |

## ・研修見学会

2023年度は、コロナ禍の影響が続き、参加者数の回復が見込めないと想定したことから、特別研修見学会の開催を来年度に延期することとし、代替策としてバス利用を1回増やして5回とする計画を立てました。七福神巡りを含めた現地集合5回と合わせて、計画通り、年間で10回の研修見学会を実施することができました。

コロナ禍の影響は減少したものの、見学先施設の受け入れ状況は依然とし厳しく、コロナ罹患への懸念等もありましたが、参加者数は昨年度の14名～29名から、21名～31名へと回復しました。2023年度は、燃料費高騰によるバスチャーター代等の上昇に見舞われましたが、参加費の増額等により予算を遵守することができました。

また、見学先の最寄り駅に集合してのマイクロバスによる送迎の実施や、往路のみバスを利用して復路は公共交通機関を利用する等の新たな取り組みを行いました。

2023年度の見学先と参加者数は以下の通りです。（バス利用以外は現地集合）

4月 東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム・ニコンミュージアム：参加者 25 名

5月 独立行政法人造幣局さいたま支局（工場および博物館）：参加者 23 名

6月 JAXA 筑波宇宙センター・水郷潮来あやめ園・香取神宮（バス利用）：参加者 28 名

7月 首都圏外郭放水路（地下神殿）（現地集合によるマイクロバス利用）：参加者 21 名

9月 赤城乳業（株）本庄千本さくら「5S」工場、本庄早稲田の杜ミュージアム、忍城址（バス利用）：参加者 24 名

10月 石切山脈、常陸国出雲大社、国営ひたち海浜公園：参加者 24 名

11月 宮光園、恵林寺、ルミエールワイナリー（バス利用）：参加者 25 名

12月 （株）朝日プリンティック 川崎工場：参加者 31 名

1月 七福神めぐり 隅田川七福神：参加者 27 名

### (3)生涯学習部会・同好会

今年度は、各会がコロナ禍前の活動に戻すよう努め、概ね、当初計画どおりの活動が出来ました。詳しくは各生涯学習部会・各同好会の報告をご参照ください。

#### 行事参加者数の変動

|               | 2018年度     | 2019年度     | 2020年度     | 2021年度     | 2022年度     | 2023年度     |
|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| <b>生涯学習部会</b> | <b>866</b> | <b>708</b> | <b>508</b> | <b>486</b> | <b>613</b> | <b>660</b> |
| 写友会           | 168        | 199        | 134        | 122        | 162        | 161        |
| 画友会           | 122        | 114        | 73         | 38         | 80         | 83         |
| 楽友会           | 323        | 195        | 173        | 207        | 212        | 198        |
| 句遊会           | 114        | 95         | 92         | 94         | 88         | 120        |
| 棋友会           | 139        | 105        | 36         | 25         | 71         | 98         |
| <b>同好会</b>    | <b>648</b> | <b>542</b> | <b>237</b> | <b>283</b> | <b>483</b> | <b>514</b> |
| 声友会           | 126        | 93         | 0          | 0          | 6          | 0          |
| エッセイクラブ       | 57         | 51         | 67         | 86         | 78         | 90         |
| ウォーキング同好会     | 71         | 44         | 24         | 26         | 41         | 41         |
| 楽器演奏同好会       | 111        | 91         | 66         | 90         | 104        | 113        |
| 江戸文化研究会       | 283        | 263        | 80         | 81         | 254        | 270        |
| 囲碁会           | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| <b>ゴルフ会</b>   | <b>31</b>  | <b>33</b>  | <b>13</b>  | <b>14</b>  | <b>26</b>  | <b>32</b>  |

#### ・生涯学習部会

生涯学習部会の活動状況は以下の通りです。

**写友会**は、4月の撮影会(府中市郷土の森公園)含め、年4回の撮影会、年6回(プリント提出2回含む)の講評を行いました。講評はリアル会場方式ですが、参加会員の利便性を図るため、ZOOM参加も可能とし、データ参加(USB,Google drive)の方にはICレコーダで、合地講師の講評をお届けし、開催方法には創意工夫を図っております。講評作品は監査懇話会のホームページに適時アップしております。7月の合同展には出展を行いました。

**画友会**は、年8回の屋内写生会、年2回の屋外写生会、年1回の合同展出展及び講評会を行いました。

**楽友会**は、コロナ前と同様、リアル例会を12回開催しました。昨年9月には22名の参加のもと、「合唱曲の魅力」をテーマに第二回音楽鑑賞会を開催、西洋音楽合唱曲の生い立ち、海外・国内の代表的な合唱団の紹介、そして各合唱団の代表曲をCDで堪能しました。今年1月には「文京区合唱のつどい」に出演、例年の蝶ネクタイの代わりに、お揃いのエンブレムを胸ポケットに装着してミッチミラー曲2部合唱曲①I love you、②When I grow too old to dream、③When the saint go marching in の3曲をご披露しました。

**句遊会**は、各月第一水曜日に菱友会会議室で句会を開催しました。また、4月には、向島百花園で日帰り吟行を行い、10月には4年振りに伊香保温泉へ一泊吟行に出かけました。句遊会会員の増加を目指し、監査懇話会会員、会友の方に俳句を楽しんでいただく体験句会は、昨年に続き継続しました。句会での詠草作品をHPで公開するとともに、例年通り合同展にも参加し、自作と写友会とのコラボ作品を発表しました。

**棋友会**は、今年度はコロナの収束により3年ぶりに通常活動が可能となりました。結果、「月例会」11回(計画10回)、「鴨川合宿大会」2回、「日本将棋連盟主催・職域団体対抗将棋大会」への出場2回(計画1回)、監査懇話会将棋大会を復活1回させるなど計画を上回る実績を残すことが出来ました。詰将棋出題と回答募集は毎月コンスタントに行い愉しんで頂いていますが、回答数が頭打ちになって

いることは否めません。体験参加お誘いでは、2名の入会を確保でき嬉しい結果で、更に継続して層を厚くする事に努めます。囲碁との合流による「新たな棋友会」の創設は手掛かりが掴めず進展無く、来期の課題となりました。行事参加者数は2月、3月の月例会の参加者次第ですが、1月まで86名の実績です。

## ・同好会

同好会各会の活動状況は以下の通りです。

**声友会**は、新型コロナまん延防止等重点措置の終了や、5類への移行などの社会状況を踏まえ、月例会の活動再開時期を模索していましたが、開催場所としていた店(銀座 505)が12月で廃業となったため、メンバーの高齢化(平均年齢 82 歳)や4年間に亘る活動停止の状況なども考慮して、12月末で解散致しました。

**ウォーキング同好会**は、都内もしくは近郊の散策を毎期、上・下期各2回計年4回の開催を原則としています。ただ散策するだけでなく、名所・旧跡・資料館等を含めたコースを計画し、6月は「旧新橋停車場歴史展示室」。9月は「かちどき橋の資料館」。12月は「お茶の水折り紙会館」。3月は「石川島資料館」の見学を含め散策しました。

**楽器演奏同好会**は、例会を毎月開催し、合同演奏会に向けての全体練習と、楽器演奏同好会結成10周年記念CD制作の録音を行いました。7月には横浜市岩間市民プラザにて合同演奏会を開催し、12月には結成10周年記念CDが完成いたしました。2024年1月16日には監査懇話会新年交礼会にて楽器演奏をご披露いたしました。

**エッセイクラブ**は従来奇数月に会合を持ちメンバーの作品を相互に批評し文章力の向上に努めています。コロナ下での自粛で在宅時間が増加した機会をとらえて設けた偶数月の「メールによる自由エッセイの会」も定着し、さらにこの仕組みを使い会員・会友からの投稿も受け入れています。また活動に当たっては、生成AIへの関心の高まりの中で、自分で文章をつくる重要性を特に認識しています。

**江戸文化研究会**は、2023年度は月例での行事に加えて、三井文庫の主任研究員をお招きして、三井越後屋における江戸店の管理の在り方を「近世三井の事業と監査関係史料について」と題する講演を特別企画として実施し、落語独演会2回、歌舞伎鑑賞会1回を含めて都合13回の行事を実施しました。参加者数累計は2月行事終了時点で延べ255名となりました。江戸文化に多面的な切り口から触れる行事は、参加者の皆さんからご好評をいただいています。

## 【合同展】

第38回合同展(写友、画友、句遊)を2023年7月9日～13日に、会場は文京シビックセンター・ギャラリー(展示室1)で開催しました。今年度は会場の工事による閉鎖で年1回の開催でした。

## (4)総務統括

### ・ゴルフ会

第240回ゴルフ会を2023年9月10日(日)利根パークゴルフ場で開催しました。酷暑続く強い陽差しの中、56歳から86歳の14名が挑戦しました。初めて日曜日の開催で現役の方の参加も増え、コロナ明けの久し振りのプレー後の表彰式パーティーは大いに盛り上がりました。第241回ゴルフ会は2024年3月13日(水)東京国際ゴルフ倶楽部で開催しました。若手や女性の参加者もあり18名と平日にも拘わらず増加傾向となったのが何よりです。

### ・会報委員会

委員会の運営は7名で、月2回(編集会議と校正会議を)事務所で開催することを基本としています。が、昨年来、1回目の委員会(編集会議)に時間をかけて、出来る限り前倒しに業務を進めるよう工夫

してきており、2回目の委員会(校正会議)をメール交換にて済ませることが出来る月が増えています。

委員会として、「読み易く、親しみがわき、誤りの無い」誌面作りを心掛けており、各委員とも非常に熱心に活動に参画頂いています。

今年度は、監査セミナー、講演会、研修見学会の3大コンテンツはもとより、ゴルフ会や生涯学習部会からの投稿も多く、エッセイの掲載もあって、バラエティに富んだ誌面作りに繋がりました。また、各委員会・部会には、原稿の締切前提出にご協力頂いており、印刷所ともスムーズなやり取りが出来ています。

費用面では、誌面割りを工夫するなどして、最大の費用項目である印刷費を中心に、実行予算を出来る限り節減するべく努めました。

## ・広報委員会

2024年3月末日の会員会友数は会員197名・会友138名 総数335名と、前年3月末日の会員203名・会友133名 総数336名に対して、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けてきたと思われます会友数の減少傾向には歯止めがかかりましたが、会員数が減少する結果となりました。

会員数の動向について分析を行ったところ、主に当会HPや体験セミナー募集専用ページを経由した新規会員の入会は例年並みに進んでいる一方で、交替会員の加入無で会友に資格変更するケース、ならびに、交替会員の加入無での退会者が増加していることが会員数減少に大きく影響していることが判明いたしました。また、監査役等としての一通りの知識が習得できたと思われるタイミング(2年未満)で退会するケースが継続、あるいは増加傾向にあることも判明いたしました。

### 会員・会友数推移

|            |   |                      |
|------------|---|----------------------|
| *2020年3月末日 | ↓ | 会員207名・会友147名、総数354名 |
| *2021年3月末日 | ↓ | 会員201名・会友149名、総数350名 |
| *2022年3月末日 | ↓ | 会員199名・会友140名 総数339名 |
| *2023年3月末日 | ↓ | 会員203名・会友133名 総数336名 |
| *2024年3月末日 | ↓ | 会員197名・会友138名 総数335名 |

広報委員会の2023年度の主な施策は以下の通りとなります。

#### ① 新入会員会友に対するオリエンテーションのリアル開催

新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受けて、2023年度は奇数月はオンライン、偶数月はリアルで開催することで当初スタートいたしましたが、リアル開催とオンライン開催でオリエンテーション受講者アンケートに大きな違いがあり、懇親会を含めたリアル開催の場合は理事の方々や参加者間の関係構築に大きく役立つことが判明いたしましたので、オリエンテーションは原則リアル開催とし、遠隔地の新入会員についてのみオンラインでの参加も配慮することといたしました。

・第1回(2012年4月)～第80回(2020年2月):累計334名(2019年度累計49名)

※2020年3月より2020年6月まで新型コロナウイルス感染症対策のため休止

・第81回(2020年7月)～第89回(2021年3月):累計374名(2020年度累計40名)

- ・第 90 回(2021 年 4 月)～第 98 回(2022 年 3 月):累計 412 名(2022 年度累計 38 名)
- ・第 99 回(2022 年 4 月)～第 107 回(2023 年 3 月):累計 444 名(2022 年度累計 32 名)
- ・第 108 回(2023 年 4 月)～第 115 回(2024 年 3 月):累計 488 名(2023 年度累計 44 名)

## ② 当会紹介リーフレットの作成

所属会社への当会入会の説明に活用いただくことを想定して、当会紹介リーフレットを改訂しHPに掲載するとともに、体験セミナー受講者への配布を行うことにいたしました。また、会費を個人支払いとしている場合は、後任が交替会員として加入いただくことが難しいものと想定されるため、当会紹介リーフレットをオリエンテーション参加者にも配布し、会費を会社負担に切り替える際にも役立てていただくようにいたしました。

## ③ 会員紹介活動の活性化

新型コロナ感染症拡大に伴い紹介活動による会員獲得が困難になる中、その対策としてHPや体験セミナー専用ページ経由での会員獲得に注力してまいりましたが、これらの新入会員の入会目的のほとんどは監査役等としての知識の習得であり、一定の知識が得られた段階で退会する傾向が強いように思われます。新型コロナ感染症対策緩和を受けて、当会メルマガにより従来同様に新規会員の紹介をお願いするとともに、オリエンテーションなどにおいても協力をお願いいたしました。更に、会員・会友による新規会員の紹介を加速するため“会員増強推進活動”を、2024 年 1 月～7 月の期間限定で実施することにいたしました。

## ④ リスティング広告の効率的な配信

従来、リスティング広告は、Yahoo、Google 双方にほぼ同様に配信しておりましたが、体験セミナー受講者アンケート、ならびにオリエンテーション参加者アンケートにおいて、インターネット検索に利用している検索エンジンは、Google が多数を占めていることが判明いたしましたので、2023 年 10 月より、Google の配信の比重を高めることにいたしました。

## ⑤ 新型コロナ感染症拡大時入会会員との懇談会開催

オリエンテーションをはじめ、各行事がリモートで実施された時期に入会された会員から直接お話を伺うことを目的に、懇談会を開催いたしました。参加者からは各行事への参加状況に加えて、会への要望、意見等を率直に伺うことができ、有益でありました。一方で参加者は 2 名に留まりましたので、他の行事と組み合わせて開催するなどの改善策を検討いたします。

## ⑥ 月刊「監査役」への広告掲載の通年実施

2024 年 2 月号より 2020 年度と同デザインで今期も月刊「監査役」に広告掲載を行っております。例年 2 月号から 6 月号までの期間限定で掲載しておりましたが、日本監査役協会における当会の知名度をさらに向上させるため、通年で掲載してまいります。

・一回当たり掲載料 30,000 円

## ・ホームページ管理委員会

セミナー・研究会・講演会・同好会等の予告案内・活動実績・公開資料などを速やかにHPに掲載し、会員・会友間の情報共有や各部会・同好会の活動のサポートに努めて参りました。

ホームページ管理委員会は 2 回開催し、委員会の職務の確認、ホームページ運用管理規程の改

訂、HP掲載情報の検討、等についての審議、意見交換を行いました。

また、毎月、当会HP閲覧利用状況のデータ取得・分析を作業外注にて実施し、理事会、広報委員会で報告いたしました。

### **・総務委員会**

2023 年度の総務委員会はマイページシステムの使用普及と、当会の財務改善のための「財務改善プロジェクト」発足準備を進め、7月の発足に伴い、その事務局業務に注力をしました。

## **3. その他の施策**

### **・事務局業務について**

2023 年度も各種行事開催案内、参加募集にメルマガを活用した結果、メルマガ発信件数は185件となりました。講演会・監査セミナーはオンライン配信した内容を YouTube にアップし、HPに掲載することで後日いつでも視聴出来るようにしています。また、マイページシステムを利用して、各種行事への参加申込み、申込みの確認が出来るようになりました。今後も会員・会友の皆様へのより一層のサービス提供に努めて参ります。

## **4. 財務について**

2023 年度は、5 月から新型コロナウイルス感染症の位置付けが 2 類相当から 5 類へ移行する中、平均人員ベースで会員 205 名、会友 140 名を前提とし、収入 19,977 千円、支出 23,296 千円とする計画で、事業に取り組んで参りました。

その結果、「1.概況-(2)会員・会友の状況」の項でご報告のとおり、期末人員ベースでは会員が6名減、会友が5名増の実績でしたが、平均人員ベースでは会員は計画値を 11 名下回る 194 名、会友は 1 名下回る 139 名となりました。

収入は、会員及び会友の減少による会費収入が計画の▲640 千円、研修見学会収入は▲68 千円、新年交礼会等のその他行事は▲258 千円で、計画の▲689 千円で、19,288 千円の実績となりました。

支出は、行事費が計画の▲1,910 千円の 10,776 千円、管理費は計画の▲329 千円の 10,280 千円になりました。支出合計は計画の▲2,240 千円の 21,056 千円となり、その結果、当期純利益は▲1,768 千円となりました。

損益の変動（千円）

（会員・会友：平均人員）

|                |        | 2018年度<br>(H30)<br>実績 | 2019年度<br>(H31/R1)<br>実績 | 2020年度<br>(R2)<br>実績 | 2021年度<br>(R3)<br>実績 | 2022年度<br>(R3)<br>実績 | 2023年度<br>2023計画 | 2023年度<br>(R5)<br>実績 |
|----------------|--------|-----------------------|--------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------|----------------------|
| 会員<br>会友<br>合計 | 会員(人)  | 190                   | 200                      | 203                  | 197                  | 199                  | 205              | 194                  |
|                | 会友(人)  | 144                   | 145                      | 150                  | 144                  | 136                  | 140              | 139                  |
|                | 合計(人)  | 334                   | 345                      | 353                  | 341                  | 335                  | 345              | 333                  |
| 収入             | 会費     | 17,514                | 18,182                   | 18,588               | 17,913               | 17,908               | 18,264           | 17,624               |
|                | その他    | 2,531                 | 2,927                    | 615                  | 1,360                | 1,180                | 1,713            | 1,664                |
|                | 合計     | 20,045                | 21,109                   | 19,203               | 19,273               | 19,088               | 19,977           | 19,288               |
| 支出             | 監査部会   | 2,335                 | 2,192                    | 2,202                | 2,435                | 2,646                | 3,043            | 2,789                |
|                | 一般部会   | 3,630                 | 3,913                    | 1,445                | 3,084                | 3,853                | 4,211            | 3,472                |
|                | 生涯学習部会 | 713                   | 776                      | 743                  | 694                  | 767                  | 750              | 579                  |
|                | その他行事費 | 3,035                 | 3,510                    | 3,343                | 3,122                | 3,393                | 4,683            | 3,936                |
|                | 管理費    | 10,048                | 9,592                    | 10,192               | 10,418               | 10,912               | 10,609           | 10,280               |
|                | 合 計    | 19,761                | 19,983                   | 17,926               | 19,753               | 21,571               | 23,296           | 21,056               |
| 一般会計損益         |        | 284                   | 1,126                    | 1,277                | -480                 | -2,483               | -3,319           | -1,768               |
| 当期損益           |        | 284                   | 1,126                    | 1,277                | -480                 | -2,483               | -3,319           | -1,768               |

## 5. 成果と課題

2023 年度は 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症になり、様々な規制・自粛が解除されながらもコロナ禍以前の状況とは違った環境の中での 1 年でした。ある程度予測されていましたが、2020 年度以来の会員・会友数の減少は止まらず、2023 年度計画(会員 205 名・会友 140 名 合計 345 名)に対しても大幅な減少を余儀なくされています。しかし 2021 年からかかる事態を予測して取り組んできた HP を活用した新規の入会者の増大策は、本年度の結果としては体験セミナー参加者数の安定化と新規の入会者数がここ数年、年間 20 名を超える人数になる成果となっています。これからはいかに新しく入会して頂いた会員・会友の皆様の早期退会を防ぎ、色々な当会活動に参加頂くことが重要になってきています。

そのためには、まず新入会員には入会直後のオリエンテーション参加を働きかけ、オリエンテーションでは監査基礎講座、会計基礎講座から各部会等への積極的参加を強く呼びかけていきます。これは、会員に当会への帰属意識と愛着を持ってもらい、現職会員の退任時には本人は会友移行、後任者は会員という流れを作りたいということです。入会 2,3 年目の会員に運営委員としての参加を要請する機会を増やす意味からも、懇親会や公募等の新しい要請方法の模索も始まっています。

新入会員・会友拡大を継続するためには、会員・会友へのサービス維持を目的とした、充実した會報発行やコミュニケーションツールを使った情報提供(オンライン方式併用セミナー等の行事)により、双方向の情報交換を更に定着させ、その内容を HP に掲載し、会社法制に関する最新情報を求めている監査役等に当会のアピールをしていきたいと考えています。

また再就任を希望する元監査役等や退任間近の現役監査役等の知識習得のための新規入会や関連問い合わせが増加しており、監査役等経験者の加入が可能な当会の会友制度という特徴を監査役等にアピールすることも会員・会友獲得のため重要とも考えています。

また HP 管理委員会等の努力によって当会 HP の詳細な閲覧状況を定量的に把握することが出来

るようになり、分析結果を見ても HP 閲覧数は安定的に増えてきています。それがリスティング広告費用の適正使用と効果に繋がってきています。

しかしながら当会の外部への発信力という点ではまだ不十分です。数年来、リスティング広告や「月刊監査役」に掲載した広告から当会 HP に会員・会友候補者を誘導し、当会の活動を知って頂くとともに、体験セミナーや特別聴講制度を利用して当会の雰囲気に触れる機会も提供する会員・会友勧誘策を行ってきました。逆にコロナ禍で見られなくなった当会発足以来行われてきた既存会員・会友が新規入会者を勧誘・紹介することも改めて復活することが重要と再認識されています。様々なやり方で新規入会の会員・会友の早期退会を防ぎ、安定した維持拡大を実現することが今後の大きな課題と考えています。

さらに会員・会友数の増大とともに従来から課題としている理事や各部会運営委員の世代交代についても、継続して方策を検討、立案し実施していかなければなりません。行事後の懇親会の開催もコミュニケーションを深める上で重要であるという認識もコロナ禍を経て改めて深まってきました。当会活動の基盤であるボランティア運営を維持しさらに内容を進化させるため、各理事、運営委員の英知を結集して課題解決に取り組んで参ります。

## 監査報告書

私たち監事は、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの第 16 期の事業報告、計算書類その他理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、講演会、監査セミナー、監査部会の各種研修会、生涯学習部会等に参加するとともに、各理事等から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類を検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1)事業報告は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2)会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (3)貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、本会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4)理事の職務執行に関する不正の行為、また法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2024 年 4 月 16 日

一般社団法人 監査懇話会

監事 岡部 博憲



監事 尾崎 徹



議決権の行使に関する参考書類

第 1 号議案 2023 年度貸借対照表並びに損益計算書承認の件

2024 年(令和 6 年)3 月 31 日現在の貸借対照表及び 2023 年(令和 5 年)4 月 1 日から 2024 年(令和 6 年)3 月 31 日までの損益計算書は添付資料 4 及び 5 の通りです。

第 2 号議案 会費改定(値上げ)の件

添付資料 6 の通りです。

第 3 号議案 2024 年度事業計画及び損益計画承認の件

添付資料 7 及び 8 の通りです。

第 4 号議案 理事選任の件

本総会をもって理事 7 名が任期満了、理事 2 名が退任致しますので、理事 9 名の選任をお願いするものです。(添付資料 9)

以上

## 貸 借 対 照 表

2024年(令和6年) 3月31日現在

(単位 : 円)

| 科 目          | 金 額        | 科 目          | 金 額        |
|--------------|------------|--------------|------------|
| (資産の部)       |            | (負債の部)       |            |
| 流動資産 (計)     | 27,618,937 | 流動負債 (計)     | 550,253    |
| 現 金          | 82,656     | 前 受 金        | 42,000     |
| 郵便振替         | 19,862     | 預 り 金        | 68,629     |
| 普通預金         | 3,179,195  | 未 払 金        | 145,903    |
| 定期預金         | 24,000,000 | 未 払 費 用      | 293,721    |
| 前 払 金        | 2,099      | 負 債 合 計      | 550,253    |
| 前 払 費 用      | 335,125    | (純資産の部)      |            |
| 無形固定資産 (計)   | 329,322    | 基 金 (注3)     | 23,000,000 |
| ソフトウェア (注1)  | 329,322    | 繰越利益剰余金 (注4) | 5,398,006  |
| 投資その他の資産 (計) | 1,000,000  |              |            |
| 差入保証金 (注2)   | 1,000,000  | 純資産合計        | 28,398,006 |
| 資 産 合 計      | 28,948,259 | 負債・純資産合計     | 28,948,259 |

(注1) 2023年2月に計上したマイページシステム構築費用(429,550円)を、定額法5年で減価償却費(85,910円/年間)を直接控除します。償却終了時期は2028年1月です。

(注2) 差入保証金は、当監査懇話会で賃借する本郷事務所のSKビル2F部分のものです。

(注3) 基金は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第131条に規定する基金です。  
当期の基金に増減はありません。

(注4) 繰越利益剰余金は、当期利益剰余金(△1,768,588円)を含みます。

(注5) 理事及び監事に対する金銭債権及び金銭債務はありません。

(注6) 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しています。

## 損 益 計 算 書

2023年(令和5年)4月1日～2024年(令和6年)3月31日 (単位: 円)

| 費 目          | 予 算         | 実 績         |
|--------------|-------------|-------------|
| 会員数 (人)      |             |             |
| 会 員          | 205         | 194         |
| 会 友          | 140         | 139         |
| 合 計          | 345         | 333         |
| I 収益の部       |             |             |
| 会員会費収入       | 13,224,000  | 12,683,500  |
| 会友会費収入       | 5,040,000   | 4,940,000   |
| 会費収入 (計)     | 18,264,000  | 17,623,500  |
| 有料講座収入       | 0           | 112,000     |
| 研修見学会収入      | 636,000     | 567,790     |
| 監査役実務マニュアル   | 275,000     | 440,000     |
| その他行事費収入     | 802,000     | 544,000     |
| 雑収入          | 0           | 0           |
| 受取利息         | 0           | 465         |
| 当期収益合計 (a)   | 19,977,000  | 19,287,755  |
| II 費用の部      |             |             |
| 監査セミナー費      | 1,652,000   | 1,635,463   |
| 監査研究部会費      | 1,013,000   | 858,779     |
| 委員会活動費       | 216,000     | 136,000     |
| 実務マニュアル編集費   | 162,000     | 159,000     |
| 監査部会費 (計)    | 3,043,000   | 2,789,242   |
| 講演会費         | 2,517,000   | 1,864,039   |
| 研修見学会費       | 1,694,000   | 1,607,711   |
| 生涯学習部会費      | 750,000     | 579,472     |
| 会報発行費        | 1,444,000   | 1,150,804   |
| 広報委員会費       | 1,630,000   | 1,534,082   |
| HP管理委員会費     | 128,000     | 126,878     |
| 総務委員会費       | 378,000     | 228,088     |
| その他行事費       | 1,103,000   | 896,522     |
| 1 行事費 計      | 12,687,000  | 10,776,838  |
| 総会開催費        | 67,000      | 51,279      |
| 事務所管理費       | 8,205,000   | 7,969,028   |
| 通信輸送費        | 740,000     | 720,160     |
| 印刷費          | 134,000     | 162,016     |
| 会議費          | 185,000     | 284,174     |
| 交通費          | 372,000     | 268,345     |
| 事務消耗品費       | 98,000      | 106,714     |
| 備品消耗品費       | 209,000     | 181,286     |
| 図書費          | 63,000      | 55,000      |
| 賃借料          | 210,000     | 208,560     |
| 減価償却費        | 86,000      | 85,910      |
| 租税公課         | 82,000      | 90,600      |
| 雑費           | 158,000     | 96,433      |
| 2 管理費 計      | 10,609,000  | 10,279,505  |
| 費用合計 (b=1+2) | 23,296,000  | 21,056,343  |
| 当期純利益 (a-b)  | △ 3,319,000 | △ 1,768,588 |

(注1) 会員数は平均人員を記載しています。

(注2) 貸倒引当金の計上及び増減はありません。

(注3) 減価償却費はソフトウェア定額償却分です。

(注4) 消費税及び地方消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

会費改定（値上げ）の件

1. 会費改定の詳細

|    | <u>現行会費(年額)</u>        | <u>改定後の会費(年額)</u>     | <u>値上げ額</u> |
|----|------------------------|-----------------------|-------------|
| 会員 | 66,000 円(半期 33,000 円)→ | 84,000 円(半期 42,000 円) | 1,500 円/月   |
| 会友 | 36,000 円(半期 18,000 円)→ | 45,000 円(半期 22,500 円) | 750 円/月     |

2. 改定時期

2024 年 5 月 27 日定時社員総会可決を経て 2024 年 10 月 1 日より改定する。

以上

**2024 年度 事業計画(案)**  
(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

## 1. 対処すべき課題

2024 年度につきましては、2020 年度以来かつてない環境下での当会会員・会友数の減少とそれに伴った財務状況の悪化の改善に対処しつつ、当会の会員・会友の皆様、全国の監査役等の皆様に、より良いサービスを継続して提供していくことが当会の大きな課題です。

2020 年初頭の新型コロナ感染症発生以来、当会ではそれ以前のような各活動が思うように展開できない中、会員・会友数の減少が続いてきました。その対応策としてオンライン活動推進用の機器購入や新規会員募集のための HP 改修等、様々な対応策を実施してきたものの、必ずしも収入増に繋がる成果は結びついていません。さらに人件費を含む管理費の増加や運営経費の上昇なども重なってきており、これらの状況から 2021 年度以降バランスシート上の繰越利益剰余金は大幅に減少、このまま推移すると近いうちに当会の同剰余金は底をついてしまうおそれがあります。この財務状況を改善させるために理事会では 2023 年 7 月、様々な施策を検討する「財務改善プロジェクト」を発足させました。理事会では本プロジェクトでの検討内容を基にさらに検討を進めましたが、議論の前提としては「会員・会友向けサービスの質を維持向上しつつ費用を圧縮すること」をベースとし、また今後の会員・会友数推移や予測される財務状況についても出来るだけ保守的な予測を前提に検討を重ねてきました。その結果、早急に財務状況の改善策実施に着手すべきとの意見で一致、具体的には 1997 年以来据え置かれている会費について、27 年ぶりの値上げという形での改定を実施せざるを得ないということになりました。2024 年1月の理事会で 2024 年 5 月定例社員総会に議案の通りの会費改定(案)をお諮りすることになりました。この会費改定と会員・会友増員の諸施策により、当会の財務状況の改善を図ってまいります。

しかし、このような環境下でも「監査役等は何をどのように行っていくべきか」について、質の向上を図りながら情報提供を継続していくことが、監査役等の「母港」としての当会の基本的な役割であり、それが最終的には当会活動の健全な維持・拡大にも結びつくと考えています。当会集合行事にオンライン方式や YouTube を取り入れたことで、首都圏のみならず全国から当会行事参加がある程度可能になりました。移動時間をかけずに参加できることも参加者の皆様へのサービス向上として評価されています。

今期も会員・会友の皆様、全国の監査役等の皆様にとって有益な発信情報の質の向上を図って参ります。

### < 会費改定の詳細 >

|    | <u>現行会費(年額)</u>        | <u>改定後の会費(年額)</u>     | <u>値上げ額</u> |
|----|------------------------|-----------------------|-------------|
| 会員 | 66,000 円(半期 33,000 円)→ | 84,000 円(半期 42,000 円) | 1,500 円/月   |
| 会友 | 36,000 円(半期 18,000 円)→ | 45,000 円(半期 22,500 円) | 750 円/月     |

\* 改定時期

2024 年 5 月 27 日定時社員総会可決を経て 2024 年 10 月 1 日より改定する。

### < 参考: 当期損益額の推移 >

| 2019 年度  | 2020 年度  | 2021 年度 | 2022 年度   | 2023 年度   | 2024 年度(予測) |
|----------|----------|---------|-----------|-----------|-------------|
| 1,126 千円 | 1,278 千円 | ▲480 千円 | ▲2,483 千円 | ▲1,768 千円 | ▲2,083 千円   |

## 2. 事業計画基本方針

新たな会員獲得のためには、HPの更なる活用や体験セミナー誘導広告(ランディングページ)を更

に充実させて体験セミナーに参加いただくことなどで、入会につなげることが第一になります。更にその入会者の早期退会を防ぐ様々な方策を実施いたします。

一方、会友数増加を実現するためには、現職時に当会に加入していなかった監査役等経験者の入会を促進するために「月刊監査役」への広告掲載を継続するなどの施策に加え、現会員の皆様に現職退任時に会友として残留していただけるように、時宜を得た活動テーマの選定等を図り、趣味等も含めた魅力あふれた活動を強化していきます。加えて、監査部会・一般部会・生涯学習部会同好会・総務統括の運営委員会に主体的・積極的に参加していただくために、その活動内容のPRや声掛け等に注力し、コアメンバーの拡充を図る所存です。

### 3. 損益計画について

2024 年度予算(収入の部)は、昨年度来続いている会員・会友の状況も考慮して、会員・会友数を平均人員ベースで昨年度実績より会員は 4 名減、会友は 1 名増、合計 3 名減と試算し、会費収入については会費改定の 10 月実施により 2,078 千円の増収となり、繰越利益剰余金は改善する予定です。

行事費、管理費についても 2024 年度はより活発な活動を期待、予定しておりながらも、諸経費の増加は避けられず、総額では 2023 年度実績比 2,393 千円増加の 23,449 千円を計画します。

その結果、当期純損益は 2,083 千円の赤字とする計画ですが、実施行事の効率化、管理工数・費用の削減を行って期中の費用削減を図るとともに、会費改定の結果が収支改善に結びつくよう努力を継続致して参ります。

|               |          | 2024年度予算案 |        |        |        |         | (会員・会友：平均人員) |        |        |           |
|---------------|----------|-----------|--------|--------|--------|---------|--------------|--------|--------|-----------|
| 単位：千円         |          | H31/R1    | R2     | R3     | R4     | R5      | R6           |        |        |           |
|               |          | 2019      | 2020   | 2021   | 2022   | 2023    | 2024         |        |        |           |
|               |          | 実績        | 実績     | 実績     | 実績     | 実績<br>A | 計画           |        |        | 差異<br>B-A |
| 上期            | 下期       |           |        |        |        |         | 通年<br>B      |        |        |           |
|               | 会員数      | 200       | 203    | 197    | 199    | 194     | 195          | 185    | 190    | -4        |
|               | 会友数      | 145       | 150    | 144    | 136    | 139     | 140          | 140    | 140    | 1         |
| 会員・会友合計人数     |          | 345       | 353    | 341    | 335    | 333     | 335          | 325    | 330    | -3        |
| Ⅰ収入の部         |          |           |        |        |        |         |              |        |        |           |
|               | 会員会費収入   | 12,985    | 13,225 | 12,810 | 12,962 | 12,684  | 6,312        | 7,647  | 13,959 | 1,275     |
|               | 会友会費収入   | 5,197     | 5,363  | 5,103  | 4,946  | 4,940   | 2,520        | 3,150  | 5,670  | 730       |
|               | 会費収入計    | 18,182    | 18,588 | 17,913 | 17,908 | 17,624  | 8,832        | 10,797 | 19,629 | 2,005     |
|               | その他収入    | 2,927     | 615    | 1,360  | 1,180  | 1,664   | 335          | 1,402  | 1,737  | 73        |
|               | 収入合計(a)  | 21,109    | 19,203 | 19,273 | 19,088 | 19,288  | 9,167        | 12,199 | 21,366 | 2,078     |
| Ⅱ支出の部         |          |           |        |        |        |         |              |        |        |           |
|               | 監査部会費    | 2,193     | 2,202  | 2,435  | 2,646  | 2,789   | 1,473        | 1,679  | 3,152  | 363       |
|               | 一般部会費    | 3,913     | 1,445  | 3,084  | 3,853  | 3,472   | 1,494        | 2,015  | 3,509  | 37        |
|               | 生涯学習部会費  | 775       | 743    | 694    | 767    | 579     | 591          | 131    | 722    | 143       |
|               | その他行事費   | 3,510     | 3,343  | 3,122  | 3,393  | 3,936   | 1,376        | 2,647  | 4,023  | 87        |
|               | 行事費 計(1) | 10,391    | 7,733  | 9,335  | 10,659 | 10,776  | 4,934        | 6,472  | 11,406 | 630       |
|               | 管理費 計(2) | 9,592     | 10,192 | 10,418 | 10,912 | 10,280  | 5,564        | 6,479  | 12,043 | 1,763     |
| 当期支出合計(b=1+2) |          | 19,983    | 17,926 | 19,753 | 21,571 | 21,056  | 10,498       | 12,951 | 23,449 | 2,393     |
| 当期損益額(a-b)    |          | 1,126     | 1,277  | -480   | -2,483 | -1,768  | -1,331       | -752   | -2,083 | -315      |

#### 4. 各部会の事業計画

今回の定期総会で承認されれば、2024 年度の下半期から、会費の値上げが実施されることになりますので、より一層各部会での活動において、サービスレベルの維持・向上が大きく問われることとなります。更に、当会の中長期計画の一環にもなりますが、会員・会友数の増大策を検討するプロジェクトの組成など、新たな方策の議論が必要になります。その過程で、外部の有力な団体とのコラボレーションや連携策の検討や行動開始も必要になるでしょう。また、当会の広報活動の一環として、他の団体の月刊誌等への広告活動の拡大策も検討課題になるでしょう。外部行事や生涯学習に関しても、予算内でのより効率的な運営方法の検討、及び会員・会友へのあくなき情宣活動も継続する必要があります。

##### (1) 監査部会

当部会の 12 の委員会等では、過去より担当理事及び各委員長や運営委員の尽力により、監査職務に係る各種テーマを取り上げ、新たに発生した課題等も積極的にテーマに取り入れ、監査品質及び技術の向上並びにその継承を目的に、大変活発にかつ主体的な活動を実践してきました。先述の会費の値上げ問題も絡んで会員・会友の減少を防ぐためにも、更に当会の財政上の安定化を図るためにも数的拡大が肝要ですので、今年度は今まで以上にギアを一段上げた質的・量的なレベルアップが必要になります。その為にも、部会内での情報の共有化と委員会等での連携強化による改善策の企画・実施が望まれます。その一例として、HP管理委員会・広報委員会や事務局等との連携で、当会のHP上の法令改正検討委員会の箇所になされた新たなコーナー「月例報告」が創設され、会員等への各種法令やルール等に関する情報公開の場が持たれることとなります。また、外部の有力な団体とのコラボレーションや連携策の検討及び企画案の実践に関しては、監査部会内部で具体的に議論する予定になります。

なお、12 の委員会等の詳細事業計画案は下記の項目を参照ください。自主勉強会につきましては、これらの独自の研究活動は当会にとっても重要な意味を持ちますので、今後とも活動へのアドバイス等の協力を行い、当会の新人会員へのオリエンテーションの場でも、継続して参加の呼びかけをして参ります。

##### ・監査セミナー

2024 年度は、2023 年度と同じ講師の先生方(新任の講師 1 名を含む)を予定しています。

既に 4 月は松山 遙氏、5 月は塚本 英巨氏、6 月は浜辺陽一郎氏にご講演をお願いし、7 月は高橋均氏を予定しています。8 月は休会で、9 月以降の具体的な内容は、今後検討・決定していきます。

テーマとしては、監査役等が基本的に身に付けておく必要がある事項、あるいは昨今の情勢変化をにらんだ監査役等の果たすべき役割等について学ぶセミナーを目指します。

また、体験セミナー受講者を増加させることによる会員・会友の増加や、特別聴講の受講者増加を図ることにより、当会の収入増加にも寄与出来るよう、監査セミナーの運営に注力して参ります。

尚、2019 年(コロナ禍前)まで、ほぼ毎回実施していたセミナー後の講師を含めた懇談・懇親会は、2023 年度から再開しておりますが、2024 年度は、より積極的に開催してまいります。

##### ・監査基礎講座

前年度と同じく、2024 年 7 月から 2025 年 5 月まで計 11 回の開催を予定しています。開催方法は、リアル集合方式と Zoom オンライン方式併用といたします。基礎講座は、会計基礎講座と同様、特に、新たに監査役に就任された方々に継続的に受講していただくために、原則、最初の段階で、参加申

し込みをしていただきますが、月次開催においては、毎回、開催日の 1 週間前に、登録メンバ全員に、参加方法、参加の可否の連絡をお願いする一方で、事前学習を意識して、講義資料等の事前共有を行います。

監査懇話会における監査部会の入り口として、広報委員会との連携を一層強化することにより、新たに監査懇話会に入会された方々の基礎講座への参加率を高め、さらに、参加者に提供できる付加価値を向上できるよう 2024 年度も引き続き努めて参ります。

## 2024年度 監査基礎講座予定

|    | 講 師                     | 監査懇役職      | 所 属                 | テーマ                 | 開催月 |
|----|-------------------------|------------|---------------------|---------------------|-----|
| 1  | 小森 克紀                   | 監査役マニュアル委員 | 元東電広告(株)            | ・監査役制度、監査役マニュアルの概要  | 7月  |
| 2  | 木内 有子                   | 講座運営委員     | (株)リアルゲイト           | ・監査計画の決定、監査役会の運営    | 8月  |
| 3  | 森川 英治                   | 理事         | アップセルテクノロジー(株)      | ・監査役職務確認書について       | 9月  |
| 4  | SG分科会代表者 … 基礎講座、SB分科会共催 |            |                     | ・初めての監査役(私はこれから始めた) | 10月 |
| 5  | 渡部 潔                    | 監査等委員、顧問   | シンバイオ製薬(株)          | ・内部統制と監査役の役割        | 11月 |
| 6  | 下村 恒一                   | 理事         | 元 日本海洋石油資源開発(株)     | ・監査役の事例に学ぶ          | 12月 |
| 7  | 五艘 洋司                   |            | (株)L is B           | ・期中監査の実行            | 1月  |
| 8  | 森田 功                    | 理事         | キオクシアホールディングス(株)    | ・監査役監査の方法           | 2月  |
| 9  | 堀田 和郎                   | 監査役マニュアル委員 | 元(株)近鉄ロジスティクス・システムズ | ・期末監査の実行、監査報告書の作成   | 3月  |
| 10 | 未定                      |            |                     | ・株主総会における監査役の役割     | 4月  |
| 11 | 太田 剛                    | 会長         | オリックス銀行(株)          | ・監査役等の在り方を考える       | 5月  |

## ・会計基礎講座

2024 年度は、昨年同様に会計初歩講座を会計基礎講座に組み込み、「新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(前編・後編)」をテーマとして、8 月と 9 月の 2 回連続開催する予定です。

また例年通り、10 月から翌年 3 月まで、営業部門、製造部門出身者などの財務会計業務未経験者を主対象として、各月 1 回計 6 回開催して、総開催回数の 8 回は変更しない計画です。

11 月ないし 12 月の講座には、公認会計士の外部講師に依頼して、その他の回は、従来通り、財務会計の知識がある会員または会友に依頼する予定です。

開催方式は、リアル集合方式とオンライン方式での併用開催を原則として、講座の進め方としては、ディスカッションのできる時間割を設定して講座を進める予定です。

## 2024 年度 会計基礎講座 予定

(敬称略)

|   | 講 師   | 所 属                    | テーマ                       | 開催月  |
|---|-------|------------------------|---------------------------|------|
| 1 | 松岡 尚登 | 元(株)三菱電機ライフネットワーク      | 新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(前編) | 8 月  |
| 2 | 松岡 尚登 | 元(株)三菱電機ライフネットワーク      | 新任監査役のための財務会計と管理会計の基礎(後編) | 9 月  |
| 3 | 高須賀 徹 | (株)日本生物製剤              | 会計実務の基礎                   | 10 月 |
| 4 | 阿部 俊彦 | 元日本鑄造(株)               | 簿記の概要と会計理論                | 11 月 |
| 5 | 小粥 純子 | 公認会計士                  | 少し難しい会計処理をサクッと手早く         | 12 月 |
| 6 | 齋藤 安弘 | 元 TAKUMINO ホールディングス(株) | 決算と法規制－会社法における会計規定を中心にして  | 1 月  |
| 7 | 越田 和也 | 元三菱電機ソフトウェア(株)         | 管理会計及び財務分析                | 2 月  |
| 8 | 石北 俊彦 | (株)ABC 店舗              | 税務会計と税務申告                 | 3 月  |

## ・監査実務研究会

2024 年度は、以下の基本方針に沿って、昨年と同様、11回の研究会(うち 2 回は外部講師)の開催を予定してします。

① 現職監査役等の監査機能の向上を目的とした、テーマの深掘りを行う。

② 新人・ベテランを問わず参加してもらい、自らの体験を踏まえながら忌憚のない議論を行う。

③ 運営委員による問題提起を基本とするが、必要に応じて、外部講師を招聘する。

引き続き、リアル集合方式とオンライン方式の併用を基本とします。年4回開催の運営委員会で選定したテーマについて、問題提起者が報告を行った後、コーディネーターの進行の下、討議時間を十分取って、テーマの深掘りを目指します。

テーマとしては、監査役等の監査の実効性を高めるため、実務に沿った課題を取り上げるとともに、大きく変化する監査環境に対応した、新たな課題にも積極的に取り組む方針です。

### ・スタディグループ分科会

本年度も監査部会の諸活動との連携を強化し、監査役就任2、3年目の会員を中心に、入会したばかりの会員も含めて、SG分科会の活動について一層理解を深めていただき、WGへの新規参加者を増やしていきます。特に、監査基礎講座からSG分科会へという流れを確立するために、「初めての監査役」の共催をはじめ、入会初年度のうちからSG分科会の発表会へ参加するように促す機会をいただき、WGのテーマやメンバーの募集への協力をお願いしていきたいと考えています。本年度も7月には、SG分科会のPRを兼ねて、新年度のWGの全体キックオフミーティングを予定しています。

また、昨年度に引き続き、ベテランの会員・会友が中心となって新しいテーマに取り組むWGにも期待して、リピーターを取り込み、全体で10グループの活動をめざしてメンバー募集に取り組んでいきます。

発表会はオンライン方式の併用を続けますが、会場でのリアル参加をさらに増やして活発な議論の場にするとともに、発表会後の懇親会も充実させたいと思います。新しいWGメンバーを増やす機会としながら、SG分科会が監査懇話会の仲間づくりの中核的存在になれるようにしていきたいと考えています。

運営面では、Zoom環境の確保に注意するとともに、運営委員の負担軽減も考慮しながら、SG分科会の活動を中心となって担ってもらえるコーディネーター役やリーダー層の育成にも力を入れていきます。

### ・監査技術ゼミ

会員・会友の監査能力の更なる向上を目的に、ゼミナール形式による講演と解説会を開催して、下記2点の方法で、より深い知見を得る場を提供しています。

- ① 経営を監査する監査役にとって重要となるテーマを選定して、その分野に造詣の深い専門家や実務家を招いて開催します。
- ② 監査懇話会の職務確認書等の解説会を開催して、内容の充実と活用の向上を図ります。

#### ① 2024年度の実施予定の講演

|                    |           |                                                            |
|--------------------|-----------|------------------------------------------------------------|
| 2024/4/8<br>第131回  | テーマ<br>講師 | 『情報リスクマネジメント』<br>JPリサーチ&コンサルティング 代表取締役社長 古野 啓介氏            |
| 2024/5/30<br>第132回 | テーマ<br>講師 | いわゆる経営判断原則マターに監査役等はどうのように監査を行うべきか<br>東京霞ヶ関法律事務所 弁護士 遠藤元一先生 |
| 2024/6/10<br>第133回 | テーマ<br>講師 | (仮題)製品安全と経営<br>品質と安全文化フォーラム 代表理事 / 博士(学術) 中嶋洋介先生           |

|                      |     |                                 |
|----------------------|-----|---------------------------------|
| 2024/7 月<br>第 134 回  | テーマ | (仮題)人事・労務管理と経営                  |
|                      | 講師  | 安西法律事務所 弁護士 岩本充史先生              |
| 2024/9 月<br>第 135 回  | テーマ | (仮題)品質と経営                       |
|                      | 講師  | ボストン コンサルティング グループ 水戸貴之氏        |
| 2024/10 月<br>第 136 回 | テーマ | 未定                              |
|                      | 講師  | 公認会計士 久保恵一先生(5回目)               |
| 2024/11 月<br>第 137 回 | テーマ | (仮題)ウェルビーイング経営Ⅱ                 |
|                      | 講師  | MS&AD インターリスク総研 主席コンサルタント 森本真弘氏 |
| 2024/12 月<br>第 138 回 | テーマ | (仮題)経営判断の正当性                    |
|                      | 講師  | ヤマトホールディングス 特別顧問 山内雅喜氏          |
| 2025/1 月<br>第 139 回  | テーマ | 未定                              |
|                      | 講師  | プロアクト法律事務所 弁護士 竹内朗先生            |

2024 年度も重要テーマを選出して、その分野に造詣に深い外部講師を招いての年 9 回の開催を予定しています。リアル集合方式とオンライン方式との併用による実施予定です。

## ②2024 年度実施の解説会

|                     |     |                                                       |
|---------------------|-----|-------------------------------------------------------|
| 2025/2 月<br>第 140 回 | テーマ | 「取締役職務執行確認書(2025 年版)」の解説                              |
|                     | 講師  | 監査懇話会 取締役職務執行確認書委員会委員長 浅見公一氏                          |
| 2025/3 月<br>第 141 回 | テーマ | 「監査役職務確認書(2025 年版)」の解説<br>「監査等委員(会)職務確認書(2025 年版)」の解説 |
|                     | 講師  | 監査役職務確認書委員会委員長 森川英治氏                                  |
|                     | テーマ | 「企業集団内部統制に関する監査役職務確認書(2025 年版)」の解説                    |
|                     | 講師  | 企業集団内部統制監査確認書委員会委員長 森田功氏                              |

成果物の解説会もリアル集合方式とオンライン方式との併用により開催していきます。

ゼミナール形式での講演や解説会により、講師と会員・会友との意見交換や質疑応答が活性することで、より知見を深めることにつなげていきます。

講師とのネットワークを大切にすることにより、会員・会友への更なる還元につなげていきます。

### ・取締役職務執行確認書委員会

2024 年度の実行確認書委員会は、会社法やコーポレートガバナンス・コードなど特に大きな法令改正はないと認識しておりますが、監査懇話会の監査セミナー等における講演内容、法令改正検討委員会の報告内容、日本監査役協会、日本公認会計士協会等の活動の動向等を注視しつつ、改訂方針を検討する予定です。改訂の検討は 2024 年 9 月頃から活動を開始し、委員は 5 名程度とし、会議開催 5 回程度を予定します。ホームページ公表は 2025 年1月頃を予定します。

### ・監査役職務確認書委員会

2024 年度の実行確認書委員会は、下期 10 月からの活動を予定しています。法令改正や

監査懇話会の監査セミナー等で登壇する諸先生方の論調、日本監査役協会や日本公認会計士協会から公表される報告・提言等の内容を踏まえつつ、監査役が標準的に対応すべき事項の有無や水準を検討し、改訂作業に当たることと致します。2025 年 3 月に新たな改訂版をHPに掲載する予定です。

#### ・企業集団内部統制監査確認書委員会

前年に引き続き監査役職務確認書との連携等を意識しつつ 2024 年 10 月頃から検討を開始する予定です。2024 年度も法令等の大きな改正は予定されていないものの、2023 年度委員会活動で積み残した海外子会社・関連会社の対応やサステナビリティ関連の課題等をはじめ、利用者の方のご意見等を伺いながら、さらに使いやすいものとするべく委員会で検討を行うことを予定しております。

改訂検討作業は 2025 年 2～3 月頃までに改訂版の原案を策定し、理事会承認を経て 3 月に当会 HP 上で公表する予定です。

#### ・監査等委員(会)職務確認書委員会

今年度も、基本的に年 2 回ベースにて、監査等委員会設置会社・情報交換会を開催する予定ですが、監査等委員の連携密度を高め、今後必要な時期での確認書改訂作業の運営委員会の立ち上げ作業を図りたいと思います。当会の会員の中でも、監査等委員会設置会社の監査等委員も 1 割を超えており、当会の活動拡大のためにも、当該委員会の積極的な再開が望まれます。

#### ・監査役実務マニュアル委員会

「最新 監査役の実務マニュアル」は、内容を常に最新の状態に保つため追録作業(新設項目追加・既存項目補正)を毎年行っています。2024 年度も追録作業を行います。原稿内容をより充実させ持続可能な委員会運営とするため委員数を 2023 年度より増員することに致します。2024 年 4 月に新年度の新設・補正の方針及び執筆担当委員を決定した後、各委員は原稿作成に取り組んでいます。執筆された原稿に対して、5 月のグループレビュー、6 月の編集会議、8 月のゲラ校閲会議を通じ、委員会としてのレビューを複数回実施し、9 月初旬に新日本法規出版(株)に追録原稿を提出する予定です。新日本法規出版(株)が 10 月に追録ページを読者へ配本致します。

#### ・法令改正検討委員会

前年度に開始した理事会での「月例報告」は、理事のみならず一般の会員・会友にも情報共有することが望ましいとの、何人かの理事の提案もあり、事務局やHP管理委員会他の協力もあって、当会のHP内の「法令改正検討委員会」の箇所に、新規のコーナー「月例報告」を設け、会員・会友限定での情報公開の場として、2024 年 3 月から過去分含めて掲載することとなりました。従って、毎月の理事会報告は、特にパブコメ対象案件が出て来た時の準備状況や意見取りまとめに関する報告に限定されることになります。

なお、今後の当会のパブコメ事案が出てきた場合には、その事案に関する当局のパブコメ評価や最終的な当局の結論等に関する事後的分析を行い、当委員会の検証を行った後に、理事会に報告するものとします。

### (2) 一般部会

講演会では概ね前年同様の活動を計画しています。Web 併用により利便性を維持するとともに、会場参加者の増加にも努めてまいります。研修見学会はバス利用、現地集合で10回の開催を計画し

ています。なるべく懇親会も併設し、参加者の増加と会員・会友の一層の交流、親睦が図れるよう努めて参ります。

### ・講演会

講演会は、8月を休会に全11回の開催を予定していますが、これに加え2024年度の最大イベント(リスク)である米国新大統領の世界に対する影響をテーマとした追加の講演会を計画しています。課題としては、会場参加者とYouTube視聴者数の増加と認識しており、対応策を検討していきたいと考えています。

前年度に引き続き今年度も、質を落とさない前提で最小限の経費での運営に努めて参ります。

### ・研修見学会

未だにコロナ禍の影響が残り、参加を控える状況も継続していることに加えて、燃料費高騰に起因するバスチャーター費用等の値上がり著しいことから、今年度も特別研修見学会は開催しないこととし、日帰りのバス利用を4回、七福神巡りを含む現地集合を6回開催し、8月と2月を除いて、年間で10回の研修見学会の開催を計画しています。

研修見学会では、個人では見学が難しい企業の施設や、幅広い観点から知見を得ることが可能と考えられる公共・民間施設等への訪問を通して、会員・会友の自己研鑽と視野の拡大を目指すとともに、相互の交流の場を提供できるように努めて参ります。

監査懇話会ならではの研修見学会の企画には、会員・会友からのご紹介が大変助かります。ご紹介頂いた見学先は優先して計画いたしますので、情報を頂ければ有難く存じます。

## (3) 生涯学習部会・同好会

### ・生涯学習部会

今年度の生涯学習部会各会の活動計画は以下の通りです。

**写友会**は一泊旅行撮影会を含む年4回の撮影会の開催とその講評会、自由テーマ作品(9月)と年間テーマ作品(3月)の講評会を開催予定です。**画友会**では、会員ご家族に広くご参加をいただける秋の「日展鑑賞会」を企画しています。**句遊会**では「句遊」第17集を発行する計画です。引き続き体験投句を会員、会友に呼び掛け会員の増加につなげていきます。また、今年度も、**写友会**、**画友会**、**句遊会**による合同展を年2回開催する予定です。**楽友会**は「音楽鑑賞会」の継続開催、毎年の恒例イベントである「文京区合唱のつどい」への参加、当会新年交礼会での合唱ご披露に加えて、2024年度は三水会合唱団演奏会への賛助出演、老人施設でのボランティア演奏を予定しています。**棋友会**は1)プロ棋士指導の月例会開催、2)日本将棋連盟主催の「職域団体対抗将棋大会」参戦、3)他の将棋クラブとの交流戦、4)「監査懇話会将棋大会」開催、5)「合宿大会」、また、6)「詰将棋出題」による会員発掘や7)囲碁・将棋合流の「新たな棋友会」実現に努めて参ります。

### ・同好会

今年度の同好会各会の活動計画は以下の通りです。

**ウォーキング同好会**は上・下期各2回の計4回の散策を予定。会員・会友のご家族・友人・知人等も参加出来るよう土曜日開催とし、距離・時間ともに基本4～6km、2時間前後の散策コースで、開催の都度次回開催の散策コースをご紹介。健康・年齢面を考慮した、参加して見ようかなと思われるような散策コースを計画します。**楽器演奏同好会**は、毎月の例会開催と、年2回の合同演奏会を開催する予定です。2025年1月には、監査懇話会新年交礼会での演奏をご披露する予定です。**エッセイクラブ**では2021年末から始めた、会員・会友からの「自由エッセイの会」への投稿呼びかけを継続し、

メンバーの増加を目指します。江戸文化研究会は、2024 年度も皆さまに楽しんでいただける行事をほぼ月次で開催していく予定です。

## 【合同展】

合同展は、原則として年 2 回行い、写友会、画友会、句遊会の作品の発表及び会員募集の場、監査懇話会の PR の場とし、会員の励みにもしていきます。

## (4) 総務統括

### ・会報委員会

今年度は、前年度予算より 25%カットの緊縮予算でスタート致します。

引き続き、「会活動の記録文書」としての役割を担いつつ、監査セミナー、講演会、研修見学会の 3 大コンテンツを軸に、生涯学習部会やゴルフ会、同好会の活動紹介など、多彩な誌面作りを目指しますが、何分緊縮予算のため、カラーページを減らしたり、投稿原稿の掲載を見合わせたりせざるを得ないケースも予想されます。そのような厳しい状況ではありますが、会報の質的低下を招かぬ様、最大限の工夫をしていきたいと考えております。

また、当会が設立 70 周年を迎える 11 月には、記念号としての発行(別途特別予算を確保)を考えており、それに向けて鋭意誌面内容の検討を進めて参ります。

### ・広報委員会

昨年度に引き続き、会員・会友募集に注力することを基本方針とします。

- ・体験セミナー募集専用ページ、ならびにHPの内容の充実により、体験セミナー受講者の募集、新規会員・会友の獲得に努めます。
- ・リスティング広告については、通年での実施を継続するとともに、利用者が多い Google による配信に一本化し、より効果的な配信に努めます。
- ・月間監査役への広告掲載を通年で実施するとともに、内容を一部改訂するなど、日本監査役協会における知名度向上に努めます。
- ・女性監査役の団体に対して、当会の体験セミナーの案内を今後継続的に行うとともに、当会の“取締役職務執行確認書”の説明などを、当会の紹介と併せてこれら団体向けに行う方向で調整し、新規会員の獲得に努めます。

### ・ホームページ管理委員会

昨年度から引き続き若干の委員交替、追加を予定し、新たな体制でHPの運用管理を担当します。基本的には、昨年同様セミナー・研究会・講演会などの予告案内や実績報告、同好会の活動内容などを迅速にHPに掲載して、各部会・同好会の活動をサポートするとともに、HPのアクセス・利用状況を確認しつつ、使いやすいHPへの改良を継続してまいります。

また、総務委員会、広報委員会と協力して、HPの内容充実を図り、新規会員・会友の獲得活動に貢献していきたいと考えております。

### ・総務委員会

2023 年 2 月に完成リリースした「マイページシステム」の定着化は進んでいますが、更に定着化の推進と、今後予想される諸課題にも取り組んで参ります。

## ・新年交礼会・ゴルフ会

新年交礼会は2025年1月の開催を予定しています。

上期と下期にそれぞれゴルフ会を計画します。

## 5. 中長期的検討課題

中長期的な課題を検討するため、総務統括理事が会長・副会長と緊密な連携を取り、「総務委員会」「広報委員会」「HP 管理委員会」等関連委員会や監査部会、一般部会、生涯学習部会同好会と一緒に議論をして参ります。テーマとしては“将来のコアメンバーの育成施策”等、議論を重ねて検討する事項が多々ありますが、明確な成案がまとまった際は、都度理事会・総会にお諮りします。

以 上

添付資料 8

2024年度損益計画（案）

2024年（令和6年）4月1日～2025年（令和7年）3月31日

| 費 目            | 金額（千円）  | 費 目 内 訳                  |
|----------------|---------|--------------------------|
| 会員数（人）         |         |                          |
| 会員             | 190     |                          |
| 会友             | 140     |                          |
| 合計             | 330     | （注1）                     |
| <b>I 収益の部</b>  |         |                          |
| 会員会費収入         | 13,959  |                          |
| 会友会費収入         | 5,670   |                          |
| 会費収入（計）        | 19,629  |                          |
| 有料講座収入         | 0       | 監査セミナー、講演会が対象            |
| 研修見学会収入        | 590     |                          |
| 監査役実務マニュアル収入   | 275     |                          |
| その他行事費収入       | 872     | 新年交礼会、年末懇親会              |
| 受取利息           | 0       |                          |
| 収益合計（a）        | 21,366  |                          |
| <b>II 費用の部</b> |         |                          |
| 監査セミナー費        | 1,652   |                          |
| 監査研究部会費        | 1,145   | （注2）                     |
| 委員会活動費         | 207     | （注3）                     |
| 実務マニュアル編集費     | 148     |                          |
| 監査部会費（計）       | 3,152   |                          |
| 講演会費           | 2,031   |                          |
| 研修見学会費         | 1,478   |                          |
| 生涯学習部会費        | 722     | 合同展費を含む                  |
| 会報発行費          | 1,082   |                          |
| 広報委員会費         | 1,430   |                          |
| HP管理委員会費       | 114     |                          |
| 総務委員会費         | 80      |                          |
| その他行事費         | 1,317   | 新年交礼会、年末懇親会など            |
| <b>1 行事費 計</b> | 11,406  |                          |
| 総会開催費          | 51      |                          |
| 事務所管理費         | 8,953   | 人件費・家賃・水道光熱費など           |
| 通信輸送費          | 955     | 電話代・PC接続料・郵送料・宅配料など      |
| 印刷費            | 134     | 行事案内印刷費など（注4）            |
| 会議費            | 185     |                          |
| 交通費            | 368     | 事務員交通費・理事会交通費など          |
| 事務消耗品費         | 98      |                          |
| 備品消耗品費         | 209     |                          |
| 図書費            | 55      | 月刊監査役・商事法務など             |
| 賃借料            | 210     | 更新複合機リース代                |
| 減価償却費          | 86      | ソフトウェア（マイページシステム）償却費（注5） |
| 租税公課           | 81      | 印紙税・住民税均等割り分             |
| 雑費             | 158     | 振込手数料・弔慰金等               |
| <b>2 管理費 計</b> | 11,543  |                          |
| <b>3 予備費</b>   | 500     | 70周年記念行事費                |
| 費用合計（b）        | 23,449  |                          |
| 当期純利益（a-b）     | △ 2,083 |                          |

（注1）会員数は平均人員

（注2）監査基礎講座、会計基礎講座、監査実務研究会、スタディグループ分科会、監査技術ゼミ

（注3）取締役職務執行・監査役職務・企業集団内部統制監査委員会職務の各確認書委員会、  
法令改正検討委員会および企画費等

（注4）印刷費は各部会への振替後の金額

（注5）ソフトウェア資産（マイページシステム）429千円を定額法5年償却で2028年1月償却終了

## 添付資料 9

### 理事候補者(重任 7 名)

| 氏 名                     | 生年月日       | 経歴                      | 監査役歴                     | 当会の3月末の主な職務                                                           |
|-------------------------|------------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| お お た たけし<br>太田 剛       | 1952.12.23 | 2011.4 入会<br>2016.5 理事  | オリックス銀行(株)<br>非常勤監査役     | 代表理事 会長                                                               |
| い し き た とし ひ こ<br>石北 俊彦 | 1952.9.4   | 2008.5 入会<br>2018.5 理事  | (株)ABC店舗<br>非常勤監査役       | 経理担当<br>会計基礎講座委員長                                                     |
| た な か あきら<br>田中 彰       | 1955.2.26  | 2014.7 入会<br>2020.5 理事  | (株)システムインテグレータ<br>非常勤監査役 | 監査セミナー委員長                                                             |
| あ さ み こういち<br>浅見 公一     | 1956.9.1   | 2018.4 入会<br>2020.5 理事  | レーザーテック(株)<br>常勤監査役      | 監査部会 部会長補佐<br>取締役職務執行確認書委員会 委員長<br>企業集団内部統制監査確認書委員会委員長<br>HP 管理委員会委員長 |
| そ う ひろのぶ<br>宗 廣信        | 1954.7.31  | 2012.7 入会<br>2022.5 理事  | 元東電広告(株)<br>常勤監査役        | 研修見学会 委員長                                                             |
| も り か わ ひではる<br>森川 英治   | 1955.8.6   | 2019.6 入会<br>2022.5 理事  | アップセルテクノロジー<br>ズ(株)常勤監査役 | 監査役職務確認書委員会 担当<br>監査役実務マニュアル委員会 担当                                    |
| よ し た いくお<br>吉田 郁夫      | 1958.11.6  | 2015.11 入会<br>2022.5 理事 | (株)シーラホールディングス<br>常勤監査役  | 広報委員会 委員長                                                             |

### 理事候補者(新任 2 名)

| 氏 名                   | 生年月日      | 経歴        | 監査役歴                        | 当会の3月末の主な職務 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------------------------|-------------|
| お お や としはる<br>大屋 俊治   | 1954.11.7 | 2017.7 入会 | 元菱電商事(株)<br>常勤監査役           | 会報委員会 委員長   |
| ま つ お か ひさ と<br>松岡 尚登 | 1956.3.21 | 2017.4 入会 | 元(株)三菱電機ライフネットワ<br>ーク非常勤監査役 | 会計基礎講座 講師   |

※本社員総会をもって、金馬房雄氏と羽持彰氏は理事を退任致します。

## 2024 度 理事その他部会長(新体制)

本定時社員総会での理事選任承認後に開催される理事会において、下記会務委嘱を決定する予定です。

|            |        |                                           |          |
|------------|--------|-------------------------------------------|----------|
| 代表理事<br>会長 | 太田 剛   |                                           | 代表理事代行順位 |
| 副会長        | 石北 俊彦  | 総務統括<br>総務委員会 委員長<br>経理担当<br>ゴルフ会 担当      | 第 1 位    |
| 副会長        | 浅見 公一  | 監査部会 部会長<br>取締役職務執行確認書委員会 委員長             | 第 2 位    |
| 副会長        | 窪田 隆   | 一般部会 部会長<br>生涯学習部会 部会長<br>同好会 統括          | 第 3 位    |
| 理事         | 田中 彰   | 監査セミナー 委員長                                |          |
| 理事         | 坂倉 明   | 事務局長                                      |          |
| 理事         | 宗 廣信   | 研修見学会 委員長                                 |          |
| 理事         | 森川 英治  | 監査役職務確認書委員会 委員長<br>監査役実務マニュアル委員会 担当       |          |
| 理事         | 吉田 郁夫  | 広報委員会 委員長                                 |          |
| 理事         | 臼井 壯之介 | 講演会 委員長                                   |          |
| 理事         | 森田 功   | 監査基礎講座 委員長<br>企業集団内部統制監査確認書委員会 委員長        |          |
| 理事         | 下村 恒一  | 監査部会 部会長補佐<br>監査実務研究会 委員長<br>法令改正検討委員会 担当 |          |
| 理事         | 豊島 秀一  | 監査技術ゼミ 委員長<br>スタディグループ分科会 担当              |          |
| 理事         | 大屋 俊治  | 会報委員会 委員長<br>HP 管理委員会 委員長                 |          |
| 理事         | 松岡 尚登  | 会計基礎講座 委員長                                |          |
| 監事         | 岡部 博憲  |                                           |          |
| 監事         | 尾崎 徹   |                                           |          |
| 主幹         | 堀田 和郎  | 監査役実務マニュアル委員会 委員長                         |          |
| 主幹         | 金馬 房雄  | 法令改正検討委員会 委員長                             |          |
| 理事以外       | 関根 紳仁  | ゴルフ会 委員長                                  |          |
| 理事以外       | 深谷 和章  | スタディグループ分科会 委員長                           |          |